旧赤星鉄馬邸社会実験実行委員会運営支援等業務委託

業務報告書

令和6年3月 一般社団法人ソトノバ

目次

1	業務	务概要	1
	1.1	業務概要	1
	1.2	実施数量	1
2	社会	≷実験実施のための実行委員会運営支援	2
	2.1	委員募集・選定について	2
	2.2	実行委員会の実施支援	2
	(1)	第 1 回実行委員会	3
	(2)	第 2 回実行委員会	6
	(3)	第3回実行委員会	12
	(4)	第4回実行委員会	14
	(5)	第 5 回実行委員会	18
	(6)	第6回実行委員会	19
3	社会	≷実験の実施支援	22
	3.1	社会実験実施の概要	22
	(1)	11 月社会実験	22
	(2)	2 月社会実験	26
	3.2	広報の支援	32
	(1)	チラシ・マガジンの作成	32
	(2)	SNS の情報配信	37
	(3)	ショートサイズ動画の作成	38
	3.3	必要な資機材等の調整	39
	(1)	社会実験準備物の調整	39
	(2)	飲食系の提供による保健所の調整	39
	3.4	効果検証	40
	(1)	アクティビティ調査	40
	(2)	アンケート調査(来場者対象)	48
	(3)	音環境測定	63
	(4)	アンケート調査(近隣住民対象)	70
4	社会	会実験実施結果報告の作成	78
	4.1	速報版	
	(1)	11 月社会実験速報版	
	(2)	2月社会実験速報版	85
	4.2	公表用資料	94
5	社会	宗大宗美术事業者等公募支援	102
	5 1	マーケットサウンディングの実施	102

1 業務概要

旧赤星鉄馬邸(以下、「旧赤星邸」という。)は、昭和9年に竣工したアントニン・レーモンド設計の建物と32本の保存樹木を有する敷地である。武蔵野市では、建物の文化財的価値と豊かな自然環境を次の世代へつなぐため、庭を公園としたうえで建物との一体的な利活用を検討している。

令和5年1月から7月にかけて全4回実施予定の市民ワークショップにて、参加市民から出された意見や利活用アイデアを踏まえた社会実験を現地で行うことで、良好な住居環境を害する恐れの無い範囲や程度を見定め、利活用の可能性を探るとともに、適切な管理運営方法の検証や、近隣住民の理解を得られる施設開設を目指すことを目的とする。

社会実験の実施においては、令和5年度は実行委員会を設置することとし、近隣への影響の度合いが少ないと想定される企画を実施した。

1.1 業務概要

- ① 業務名:旧赤星鉄馬邸社会実験実行委員会運営支援等業務委託
- ② 業務場所:旧赤星邸(吉祥寺本町4-26-21)、武蔵野市役所、その他市が指定する場所
- ③ 工期:令和5年6月22日から令和6年3月31日まで
- ④ 委託者:武蔵野市 資産活用課
- ⑤ 受託者:一般社団法人ソトノバ

1.2 実施数量

1	社会実験実施のための実行委員会運営支援	一式
2	社会実験の実施支援	一式
3	社会実験実施結果報告の作成	一式
4	社会実験実施事業者等公募支援	一式
5	打合せ協議	一式



2 社会実験実施のための実行委員会運営支援

2.1 委員募集・選定について

令和5年度の社会実験の実施企画や運営を行うための実行委員会を設立するため、市民在住者・在勤者を対象に公募を行った。公募にあたっては、個々人の能力や旧赤星邸や今年度達成目標の理解力を把握するため、「①市民活動、社会貢献活動、地域活性化の活動についての実績」、「②小論文」を設問として設けた。

小論文は、テーマ1を「自身の活動や仕事などの経験を生かして本活動に貢献できること」、テーマ 2を「社会実験を実施するうえで、特に配慮が必要だと考えること」とした。

選考の結果、24名の市民委員を選定した。

2.2 実行委員会の実施支援

実行委員会は、社会実験2回の企画を検討することを目的として計6回開催した。検討の議論は、基本的に各実行委員会内で実施したが、必要に応じてオンライン会議、現地確認等を通して検討を進めた。

表 2-1 実行委員会の概要

	日時	場所	出席人数	実施内容
第1回	2023/8/27	第一小学校	22 人	日赤星邸を活用した活動や整備に対する認識等のすり合わ
NJ I E	15:00-19:00	33 3.11/		せをする観点から、ブレインストーミング型のワークショ
	15.00 15.00			ップ(プレイス・ゲーム)を実施した。
				コプロジェクトを進めるにあたっての委員会愛称を「niwa
# 0 D	0000/0/14	-1 + = +	10	*Project (ニワボシプロジェクト)」と全員で取り決めた。
第2回	2023/9/14	武蔵野商工会館	19人	第 1 回目で把握した短期的な施策、市民ワークショップの
	19:00-21:00			意見を基に、カフェ企画、マルシェ企画、歴史情報発信企
				画、野外シアター企画、子ども企画に分類し、社会実験の
				企画を検討した。
第3回	2023/10/12	武蔵野商工会館	24 人	企画の実行に向けて当日の段取り等について、取り決め
	19:00-21:00			る。準備にあたっては、役割分担表・備品管理表を作成し
				<i>た</i> 。
第4回	2023/12/8	武蔵野商工会館	24 人	社会実験終了後、調査結果の速報版を共有し、第 1 回目社
	19:00-21:00			会実験のフィードバックを行った。さらに、2月社会実験の
				企画について、11 月社会実験の課題を踏まえ、案だし、企
				画班を決定し、企画の検討した。
第5回	2024/1/18	武蔵野商工会館	22 人	企画の実行に向けて当日の段取り等について、取り決め
	19:00-21:00			る。準備にあたっては、役割分担表・備品管理表を作成し
				た。
第6回	2024/2/26	武蔵野商工会館	23 人	報告会形式で、全 2 回実施した社会実験の実施概要、当日
	19:00-21:00			の様子等を報告した。社会実験を振り返り、フィッシュボ
				ウル形式によるワークショップにて全員でディスカッショ
				ンした。

(1) 第1回実行委員会

第2回実行委員会は、旧赤星邸を活用した活動や整備に対する認識等のすり合わせをする観点から、ブレインストーミング型のワークショップ(プレイス・ゲーム)を実施した。プレイス・ゲームでは、旧赤星邸の建物と庭園を現地確認し、旧赤星邸と庭園の特徴と課題を共有、短期的な取り組み、長期的な取り組みをディスカッション形式で把握した。各班で発表し、発表の中で得られた企画・テーマを模造紙にとりまとめ、11 月社会実験の企画案を投票形式で取り決めた。(最終的な企画の決定は、市民ワークショップの意見を踏まえ、総合的に判断した。)

当プロジェクトを進めるにあたっての委員会愛称を「niwa * Project (ニワボシプロジェクト)」と全員で取り決めた。









図 2-1 開催の様子









図 2-2 プレイス・ゲームの意見



図 2-3 11 月社会実験企画の投票

(2) 第2回実行委員会

第1回実行委員会は、第1回目で把握した短期的な施策、市民ワークショップの意見を基に、カフェ企画、マルシェ企画、歴史情報発信企画、野外シアター企画、子ども企画に分類し、各々の企画や実施案について委員に提示した。参加したい企画に分かれ、各班で社会実験の企画を検討した。







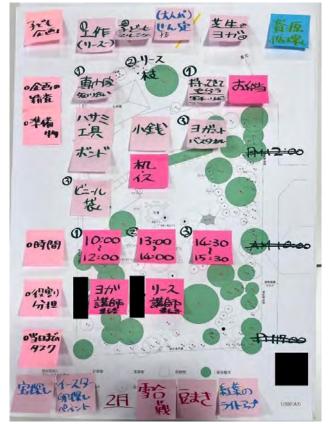


図 2-4 開催の様子



(カフェ班) (マルシェ班) (野外シアター班)





(歴史情報発信班)

(子ども班)

図 2-5 検討内容



表 2-2 カフェ班の検討内容

項目	小項目	内容
コンテンツ	庭カフェ	・茶道
		・ワークショップ形式で、テーブルでお茶を立てる
	チェコカフェ	・アントニン・レーモンドがチェコ出身のため、チェコにちなんだ
		スイーツやコーヒーを販売
コンテンツ詳細	庭カフェ	出店者:カフェチーム
		役割分担:器・茶筅(ちゃせん)を用意(10~20 人分は確保可能)
		その他:
		抹茶/お茶菓子は購入
		ポットは持ち寄り
		水は旧赤星邸で汲む
	チェコカフェ	出店者:カレルチャペック紅茶店
		設えの仕方:枕木をカットした椅子に座る
		出店時間:映画始まる時間(17:30~)まで提供する
		役割分担:声がけするカフェのリスト作成
	当日までのタスク	必要備品の整理:ハンモック、テント、ピクニックシート、テーブ
		ル、椅子など検討中
		カフェ出店者のリスト作成

表 2-3マルシェ班の検討内容

項目	小項目	内容
コンテンツ	農産物の販売	農家1:班メンバー知り合いの農家
		武蔵野市内、朝採れ
		農家 2:市に紹介してもらった農家
	Tシャツの販売	
コンテンツ詳細	売上について	各ブース、売上の 10%は旧赤星邸の保存(芝生の維持)に使うこと
		とする
	開催時間	10:00~15:00(他のグループの状況も踏まえて検討)
	設えの仕方	全体的に統一されたオシャレな設え
		イメージとしては、モダン<ナチュラル
	出店者交渉に向けて	武蔵野市産業振興課農政係に農家さんを紹介してもらい、出店交渉
		を行う
		当日の販売は出店者(農家さん)に任せるが NG ならプロジェクト全
		体から募って担当
		三鷹駅前マルシェで使っている備品を借りられないか交渉
	備品について	職員私物のテント (2m×2m) を 2 つ用意
		まちづくり推進課にテント・ライト・長机を手配



表 2-4 歴史情報発信班の検討内容

	·	表 2 - 4 歴史情報発信班の検討内容
項目	小項目	内容
コンテンツ		旧赤星邸は時代によって持ち主が代わり、それに伴い建物、庭の姿も変わってき
		た。
		今の姿と当時レーモンドが考えた姿のギャップを表現し、将来のあり方を問う機会
		としたい。
コンテンツ	資料の見せ方	テーマ別の展示パネルを会場全体に点在させ、回遊できるようにする。
詳細		テーマおよびテーマごとの大まかな内容は、以下の通り。
		① アントニン・レーモンド
		・エントランス付近に設置
		・レーモンドの来歴
		・レーモンドの思想(レーモンドはこう見せたかった(五日市街道から見たファサ
		ードの意識など)、昔の航空写真から、五日市街道側の土地の所有の変遷が表現で
		きるかも)
		・「旧赤星邸」について(赤星喜介邸/1932 年)
		②赤星鉄馬
		・藤棚下付近に設置
		・赤星鉄馬の来歴(ペンシルバニア大学卒でアメリカ文化に明るかった等)
		・赤星家のライフスタイルと当時の日本のライフスタイルの差異
		・レーモンドとの交流
		・半屋外空間で食事している写真があるといい
		③ 「修道院時代」の旧赤星鉄馬邸 佐宮神代をは記録
		・修室棟付近に設置
		・何を変えたか?(植樹、キリスト像、増築など) ・使用実態(何人くらいで生活していたかなど)
		・使用期間
		(金) 「進駐軍時代」の旧赤星鉄馬邸
		・噴水付近に設置
		・何を変えたか?(噴水、接収されものなど)
		・使用実態(犬と夫婦で生活していたなど)
		・使用期間
		〜 〜
		・保存樹付近に設置
		・レーモンドの庭に対する思想
		・庭の歴史(木の配置、増減の変遷)
		⑥ 旧赤星鉄馬邸の「建築」について
		・タープ付近に設置
		・建築の歴史(旧赤星邸、修室棟、礼拝堂の増築など)
		・模型展示(レーモンド事務所への協力要請必要)
		オプション
		・スクリーンに映画を投影していない時間帯に以下コンテンツを投影するのはどう
		か(昔の写真、藤森照信氏レクチャー)
		・①~⑥の展示を見たら記念品(絵葉書、当時の写真のダウンロード権、土産物な
		ど)贈呈できないか(スタンプラリー形式など)
	パネル等必要	写真
	なもの整理	テキスト(文献)
	_	

その他意見	①~⑥の分担を以下のように決めた。各自、展示のストーリーづくり、パネル展示
	で使用したい写真の収集を始める。
	① アントニン・レーモンド
	② 赤星鉄馬
	③ 「修道院時代」の旧赤星鉄馬邸
	④ 「進駐軍時代」の旧赤星鉄馬邸
	⑤ 旧赤星鉄馬邸の「庭」について
	⑥ 旧赤星鉄馬邸の「建築」について
	・協力先候補:武蔵野ふるさと歴史館、レーモンド事務所
	・AR で昔の姿をうつすのは!?お金かかる…
当日までのタ	各テーマのパネル展示で使用したい写真探し
スク	各テーマの展示方針(ストーリーづくり)検討
	写真使用の許諾
	WS 中の意見では出なかったが、パネルの構成、編集、デザインを誰がやるのか

表 2-5 野外シアター班の検討内容

項目	内容
コンテンツの内容	・映画「人生フルーツ」を夕方から夜にかけて上映
	・アントニン・レーモンドにゆかりのある映画として、映画とともに旧赤星鉄馬邸の周知
	を図る。
開催概要	・時間 17:30-19:00 に上映予定(他のイベントスケジュールと要調整)
	・金額 無料上映(※市要調整)
役割分担	・受付
	・機器操作
	・椅子並べ
	・資機材搬入出
準備物	・プロジェクター(※明るさは要確認)
	・音響機材(スピーカー)
	・椅子
	・シート
	(・ブランケットは、参加者持参を案内)
	・夜間照明(中道商店街の LED ライトを借りる)
検討事項・留意点	・投影が可能か確認する必要がある。
	・人数の確認方法
	・他の員ベントスケジュールを確認
	・予約の有無、予約方法
	・什器の手配

表 2-6 子ども班の検討内容

X = 0.1 C 0.12 (KR) 1.11			
項目	内容		
コンテンツの内容	・庭でヨガをする体験会(協力できる講師を探す)		
	・リース工作体験会・マルシェ(事前に木を剪定し、旧赤星邸の木やツタでリースを作		
	る。協力できるリースづくりの講師がいればお願いする。)		
開催概要	・10 時~12 時:リースづくり		
	・13 時~14 時:リース販売(マルシェ)		
	・14 時半~15 時半:ヨガ		
役割分担	・各講師への協力を伺う		
準備物	・ハサミ、工具		
	・ボンド		
	・小銭		
	・机		
	・椅子		
	・ビニール袋		
	・ヨガマット		
	・バスタオル		
	・軍手(持参してもらう)		
	・弁当(持参してもらう)		
検討事項・留意点	・剪定する木やツタを事前に確保できるか		
	・各講師に協力してもらえるか		
	・スペースの確保		

(3) 第3回実行委員会

第3回実行委員会は、事務局から社会実験当日の運営について案内を行い、プログラムの最終確認を行なった。また、第2回実行委員会で分かれた5つの企画班ごとに11月の社会実験の企画を検討した。 班ごとに検討した内容については、模造紙に整理し全体に共有した。





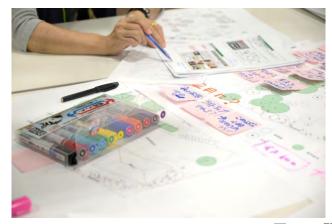




図 2-6 開催の様子



無料 P92で 映画の 說印 映画成用 がたさ つくる RILY 夜まする 16:00+17:00 待5時间 中で行つ (脚を79:11) 整理务 被宪验 大久ターに 円の、生養10名 と記された からない 上映总统 30分後 入口内以入 (オス:アル) 用場 17:00 梯1008 村建印 コージでは 略いる 自由与主危性 コザンペース イスを イススペース くばる 1220-2 まるる (BARE) @2F1=? 本の政策 ライトライ 14名 14名 757

(カフェ班)



(野外シアター班)



(歴史情報発信班)

(子ども班)

図 2-7 検討内容

(4) 第4回実行委員会

第 4 回実行委員会は、11 月の社会実験の振り返りと、2 月の社会実験で実施したい企画について検討した。事務局からは、速報版として社会実験の来場者意見や調査結果をまとめた資料を共有した。企画については、社会実験の結果を踏まえ、ランダムに座ったテーブルごとに意見を出し合い、付箋にアイデアを整理した。付箋のアイデアはカテゴリごとに分けて、各班で発表した。発表後は似ている意見を集約し、全員で実施優先度が高いものや実現性など総合的に議論し、企画を次の 4 つに絞った。子ども企画、学び企画、音楽企画、飲食企画について、参加したい企画に分かれ各班で、次の社会実験の企画詳細について具体的に話し合いを進めた。









図 2-8 開催の様子



信題 夜975594

(子ども企画)



(学び企画)



(音楽企画)

(飲食企画)

図 2-9 検討内容

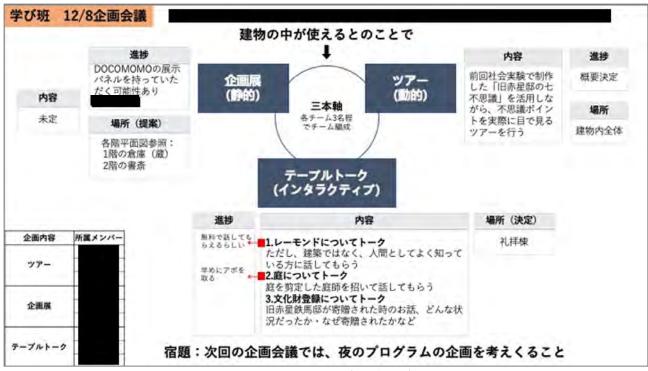


図 2-10 検討内容 (学び企画)



図 2-11 検討内容 (音楽企画)



図 2-12 検討内容(飲食企画)



図 2-13 検討内容(子ども企画)

(5) 第5回実行委員会

第5回実行委員会は、事務局から社会実験当日の運営について案内を行い、災害時の建物内の誘導や建物利用に関する注意事項を改めて確認した。また、第4回実行委員会で分かれた企画班ごとに社会実験の企画を検討し、準備物・当日の役割・プログラム等の最終確認を行なった。









図 2-14 開催の様子

(6) 第6回実行委員会

第6回実行委員会は、市から旧赤星邸の利活用にあたっての経過報告、受託者から2月の社会実験の 実施概要や調査結果報告を行なった。さらに、2月社会実験の企画班ごとに当日の実施内容や課題について発表を行った。

その後、参加者全員を対象にフィッシュボウル形式によると議論を行なった。議題は、「今後の運用について」「地域愛着を育む場にするための工夫」「来年度の実験に取り入れた方がいいこと」の3つに絞り議論を進めた。なお、公聴は一般参加も可能とした。













図 2-15 開催の様子

表 2-7 フィッシュボウル形式による議論内容

項目	表 Z-7 フィッシュホリル形式による議論内容 内容
3. 今後の運用について	174
担い手	・広く市民に場を知ってもらい、その一人ひとりのやりたいことを集めるとよい
150.7	・近所(本町4丁目)の人たちも活用したい
	・色んな人の意向があることを踏まえると、運営者のファシリテーション能力が問われ
	ここんな人の意向があることを超またると、建省省のファファア フョン能力が同れれた る
	│ ゜ │ ・とても難しい運営業務だったとしても、市民が参加できる仕組みがあって欲しい
	・最終的に委託管理の人が入ってきても、市民に任せる部分がないと自発性が生まれな
	取ればに支配自星の人が人うできても、市民にはとる部分がないで自光にが上まれば
<u></u> 参加してくれる人を惹き	・レーモンド、修道院、赤星など、切り口が多い空間なので、色々な関心の人に関わり
つける仕組み	しろがある
· // 3 12 12	・参加のハードルを下げることが大事
 若い人が参加しやすくな	・中・高・大学生なども含めて参加してもらいたい
るための工夫	・学生が来るハードルを下げるためには、周知の方法を変えた方が良い。高校生に送る
	郵便、学校にポスターの掲示、図書カードをインセンティブにするなどする。
<u></u> 参加者の新陳代謝と緩や	・市民参加の間口を広くしていても、仲良しグループができると、その中に入りにくく
かなつながり	なる。そうならないようなプラットフォーム作りが重要。
	・固定しすぎないゆるい運営(出入り自由など)が必要。
	・社会実験に参加することで、主体性が高まる。市民がこの場所に主体性を持ち続け
	る、使い方について議論でき、実現できる場が継続して欲しい。
	・ゆるやかな出入りはあるとしても、過去の取り組みを知らないのは勿体無いので、情
	報の置き場があるといいだろう。
	・ゆるい自由な雰囲気とする一方で、武蔵野市として譲れないことやルールは予め出し
	て欲しい。
	・周りに住んでいる人がコンテンツを生み出す力がある地域。市民にどう委ねるか、市
	役所はどうサポートできるか。そのために市がどこまでオープンになれるか。
	・市とソトノバにも課題や大変だったことを発表してもらいたい。
	・反対の意見を気にしすぎない勇気も必要である
利活用のモデルケースと	・文化財の「利活用」をちゃんと考え、その能力を育てる場にもなりうるのではないか
して、関わる人を育てる	
2.地域愛着を育む場にする	<u></u>
有名でなくとも自由に表	・日常で生演奏を聴く体験はとても良かった。そんな人が手軽にきて欲しい。
現できる場	
時代を体験してもらう	・現代とは異なる「昭和初期」の場所性を日常使いするプロジェクトは珍しい。その体
	験を多くの人にしてもらいたい
	・タイムスリップできる空間にする
	・レーモンドのチャレンジ精神にあふれた空間を若い人が体験できるようにする
	・道路と区切る壁はむしろあった方がいいだろう(隠れ棲のような)
市民が関わる	・建物があるから活用するのではなく、使いたい思いがあるから活用するという流れを
	実感できた
	・市民が関わる良さをいかに実験終了後にも引き継ぐか、これが今一番市が考えなけれ
	ばならない課題
新しいチャレンジを生む	・個人でやろうと思うとハードルの高い活動が、旧赤星邸のプロジェクトとして守られ
	た中でなら敷居が低く実施でき、それによって成長し、旧赤星邸の外へとスケールア
	ップする可能性が生まれる。



項目	内容
3.来年度の実験に取り入れ	た方がいいこと
市民による運営	・市民だけで雑用も含めて運用する
コンテンツを絞る	・企画のコンテンツが多すぎると一つが充実しにくい。テーマを決めてコンテンツを減
	らし、くつろげる社会実験
音楽・文化	・サマーロックフェス(練習・本番の場所のない人のために)→うるさいという意見も含
	め、音量検証
多様な実験	・色々なタイプの実験をすれば、それが空間に訪れる入り口になり、旧赤星邸の別の側
	面に興味を持つという循環があるだろう
学生が興味を持ちやすい	・シニア向け、子供向け(子育て層)はあったけど、ティーン向けの企画もあっていいだ
企画	ろう
金銭的な検討	・有償ボランティアでないと、関係者の調整など心苦しい。今後続けていくには難しい
	のでは
	・将来的に旧赤星邸にとって何が相応しいのか、どういう人を呼ぶべきか、追求してい
	く必要がある。
	・収益をあげる活動の可能性はある(参加者に分配するのも良いだろう)
歴史	・歴史を専門にしている人に入ってもらいたい
	・歴史を感じながら、人がコミュニケーションをとれる場(演劇など)を企画して欲しい
世代	・若い世代、高齢世代の関心に合わせたプログラム(よくリサーチする)
広報	・これまで市報と Twitter しかなかったが、今回 Instagram や HP も活用した。どうすれ
	ば多くの人が情報を受け取れるようになるか検討するべき



3 社会実験の実施支援

3.1 社会実験実施の概要

(1) 11月社会実験

① 実施概要

当社会実験は、旧赤星邸と庭園を一体的に活用していくことを目指したものである。まず第一弾としては、「庭園の活用可能性」に視点を置き、庭園のみを実験の会場とした。

表 3-1 社会実験開催概要

項目	概要
日時	11月5日(日)10時~19時(※10時~16時は入退場自由、17時以降は入場制限有)
天気・気温	晴れ、日中:20.5°C~23.0°C、夜間:18.4°C~19.8°C









図 3-1 実施風景

表 3-2 社会実験のプログラム

	10:00	10:30	10:30	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	•••	17:00	17:30	•••	19:00
① カフェ													Ĭ					
② スイーツ	•												Ĭ					
③ 雑貨販売													Ĭ					
④ 茶道 WS					•				•		•		•					
⑤ 歴史ツアー					Ĭ						Ĭ							
⑥ 旧赤星邸展示													Ĭ					
⑦ リース WS		•	Ĭ	•	Ĭ			•		•	Ĭ							
⑧ 親子ヨガ										(
⑨ 屋外シアター																		\blacksquare
⑩ 来場者 WS													Ĭ					

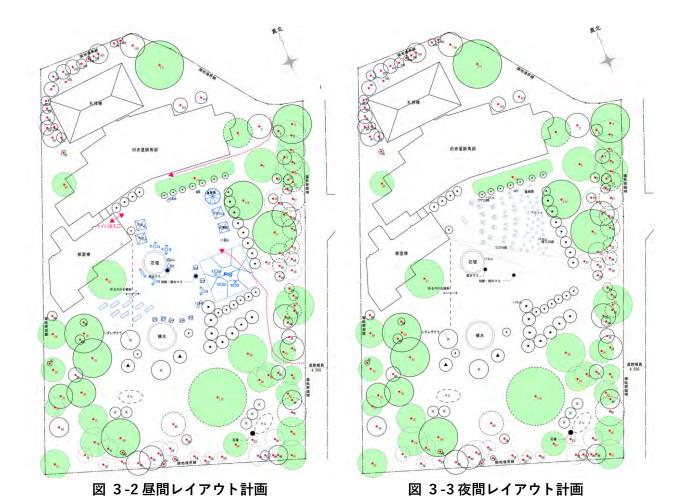
② 企画・会場設えの内容

企画については、カフェ班から「①自家焙煎コーヒー屋 DREAMERS COFFEE」「②ラトリエドゥタカコの焼き菓子」「④テーブル茶道ワークショップ」、マルシェ班から「③アトリエショップ P&M」、歴史情報発信班から「⑤旧赤星鉄馬邸七不思議展示」「⑥歴史勉強ツアー」、子ども班から「⑦Harvest Wreath のこどもワークショップ」「⑧親子ヨガ」、野外シアター班から「⑨屋外ナイトシアター「人生フルーツ」」をコンテンツとして準備した。

さらに、2月社会実験に活用するために、来場者を対象にワークショップを行った。 会場は、椅子・机やゴザ等の滞留場所を設け、長時間滞在できるよう設えた。

表 3-3 社会実験開催概要

企画内容	結果報告
①カフェ「自家焙煎コーヒー屋 DREAMERS COFFEE」	販売数:珈琲 120 杯、パック等販売 27 点
②スイーツ「ラトリエドゥタカコの焼き菓子」	準備した焼菓子完売
③雑貨販売「アトリエショップ P&M」	販売数:T シャツ 42 枚、雑貨等販売 20 点
④テーブル茶道ワークショップ	参加者数:34 名(1 回 800 円)
⑤旧赤星鉄馬邸七不思議展示	参加者数:22 名(保護者除く)
⑥歴史勉強ツアー	参加者数:29 名
⑦Harvest Wreath のこどもワークショップ	参加者数:26 名
⑧親子ヨガ	_
⑨屋外ナイトシアター「人生フルーツ」	参加者数:96 名
⑩来場者対象ワークショップ (庭の活用方法について)	意見数(付箋の数):104 件



YNJ/ ABER

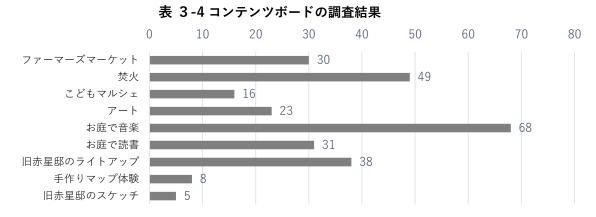
23



図 3-4 各企画の実施風景

③ 来場者ワークショップの結果

会場内で「この庭、どう使いたい?」をテーマにワークショップを実施した。市民ワークショップで出された意見で今回の社会実験の企画として実施しなかった企画を掲載したコンテンツボードを作成した。コンテンツボードでは、「お庭で音楽」が 68 件と最も多く、次いで「焚火」が多い結果となった。また、その他自由に記述できるワークショップボードでは、子どもに関する活動・遊戯・運動に着目した企画に関する声が多かった。



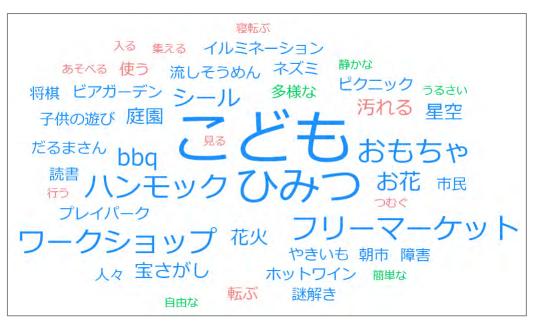


図 3-5 ワークショップボードの自由記述 (テキストマイニング※出現頻度順)



図 3-6 ワークショップボード

(2) 2月社会実験

① 実施概要

当社会実験は、旧赤星邸と庭園を一体的に活用していくことを目指したものである。今回、第二弾としては、「庭園と建物の一体的な活用可能性」に視点を置き、建物・庭園を会場とした。

表 3-5 社会実験開催概要

項目	概要
日時	2月4日(日)10時~16時 ※入退場自由
天気・気温	みぞれのち曇り、日中:2.9°C~6.6°C





図 3-7 実施風景

表 3-6 社会実験のプログラム

	衣 3-0	工工工	天歌	0) /	υ).	14							
	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
① [キッチンカー]道草ヒュッテ													
② [飲食テント]ケーニッヒ													
③ [飲食テント] シフク食堂													
④ [語り] 渡辺哲(俳優)の朗読、語り					-								
⑤ [音楽] 武蔵野市民交響楽団金管八重奏					•		•						
⑥ [音楽]歌曲:浜坂京子、ピアノ:大塚 純子									1				
⑦ [音楽] 歌:ゆいこ、チェロ:オクムラ											•		
⑧ [学びツアー]旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー 「建築たんてい団」					•				1				1
⑨ [学びテーブルトーク]暮らしのテーブル茶道ワークショップ								1					
⑩ [学びテーブルトーク] みどりを介したコミュニティデザイン													
① [学びテーブルトーク] 流浪の建築家 A.レーモンドの魅力その豊穣なる人生									·				
② [学び企画展]旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築													
⑬ [スポーツ]グランドゴルフ							•		-	•		-	
(子ども企画) オリジナルカルタとお庭で宝探し										•			

② 企画・会場設えの内容

企画については、飲食企画から「①しぜんでつながるキッチン道草 Hutte」「②ケーニッヒ」「③シフク食堂」、音楽企画から「④渡辺哲(俳優)の朗読、語り」「⑤武蔵野市民交響楽団金管八重奏」「⑥歌曲:浜坂京子、ピアノ:大塚純子」「⑦歌:ゆいこ、チェロ:オクムラ」、学び企画から「⑧旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー『建築たんてい団』」「⑨暮らしのテーブル茶道ワークショップ」「⑩みどりを介したコミュニティデザイン」「⑪流浪の建築家 $A.\nu$ ーモンドの魅力その豊穣なる人生」「⑫旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築」、子ども企画から「③グランドゴルフ」「⑭オリジナルカルタとお庭で宝探し」をコンテンツとして準備した。

また会場には、前回社会実験同様、椅子・机やゴザなどの滞留場所の設置に加え、冬季も庭園で長期滞在できるよう屋外用ガスストーブも設えた。

表 3-7 社会実験開催概要

企画内容	結果報告
①[キッチンカー]しぜんでつながるキッチン道草 Hutte	販売数:ガレット 77 点、焼菓子 14 点
② [飲食テント] ケーニッヒ	販売数:ホットドッグ 35 点、アルコール飲料 55 点
③ [飲食テント] シフク食堂	販売数:スープ 87 点、パスタ 52 点、チャイ 74 点
④ [語り] 渡辺哲(俳優)の朗読、語り	参加者数:54 名
⑤[音楽]武蔵野市民交響楽団金管八重奏	参加者数:63名
⑥[音楽]歌曲:浜坂京子、ピアノ:大塚純子	参加者数:57名
⑦ [音楽] 歌:ゆいこ、チェロ:オクムラ	参加者数:42 名
⑧ [学びツアー] 旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー「建築たんてい団」	参加者数:55 名
⑨ [学びテーブルトーク] 暮らしのテーブル茶道ワークショップ	参加者数:12名
⑩ [学びテーブルトーク] みどりを介したコミュニティデザイン	参加者数:35 名
① [学びテーブルトーク] 流浪の建築家 Aレーモンドの魅力その豊穣なる人生	参加者数:62 名
⑫ [学び企画展] 旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築	_
⑬ [スポーツ] グランドゴルフ	参加者数:36 名
⑭ [子ども企画] オリジナルカルタとお庭で宝探し	参加者数:36 名



図 3-8各企画の実施風景 (庭園)

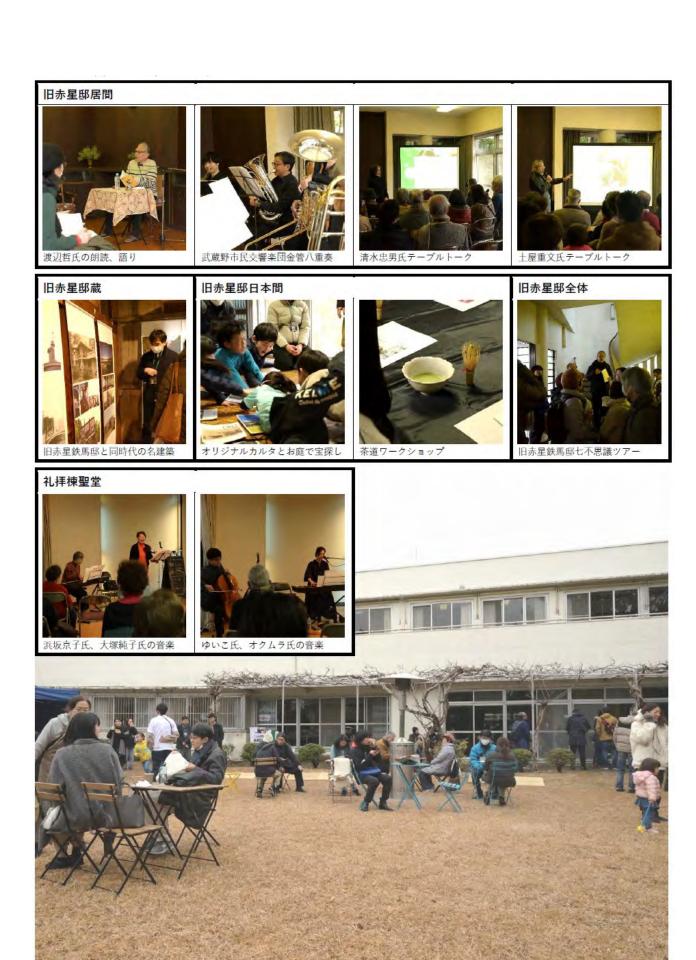


図 3-9 各企画の実施風景 (建物内)

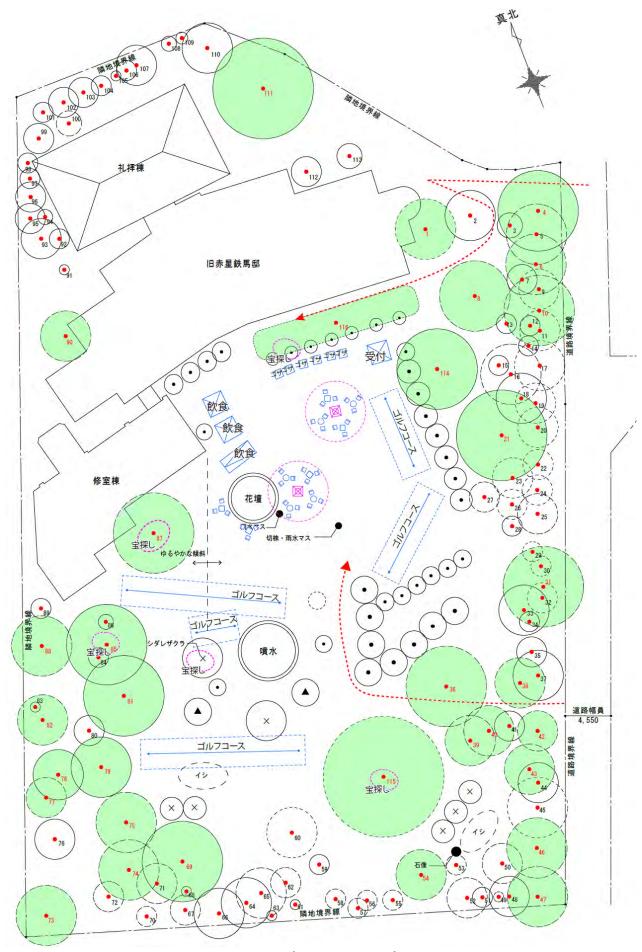
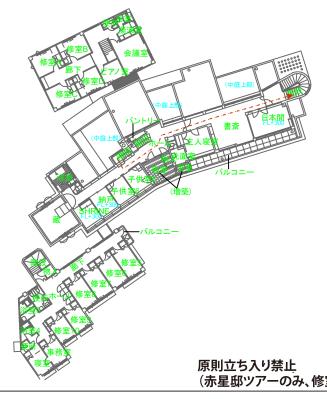


図 3-10 庭園レイアウト計画



原則立ち入り禁止 (赤星邸ツアーのみ、修室棟トイレのみ可能) 27皆

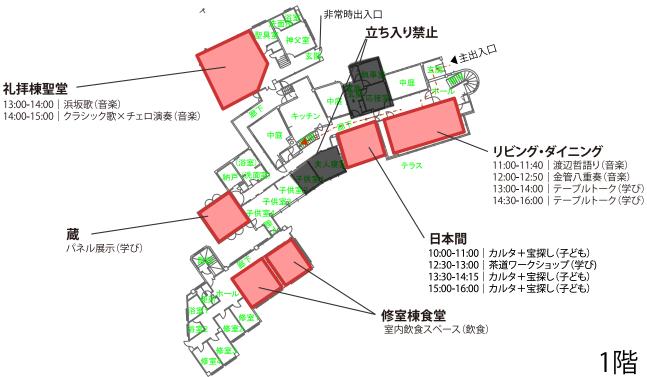


図 3-11 建物内ゾーン計画

3.2 広報の支援

(1) チラシ・マガジンの作成

① チラシの作成

チラシは、社会実験の内容や各企画の詳細を周知するために、作成した。ニワボシプロジェクトの協力の基、近隣や各所施設などに配布・掲示した。



図 3-12 ポスター (A3 ヨコ)





図 3-13 チラシ (A4 タテ表・裏)



図 3-14 ポスター (A3 タテ)





図 3-15 チラシ (A4 タテ表・裏)



② マガジンの作成

マガジンは、11 月社会実験の当社会実験の結果や当日の様子をまとめるとともに、ニワボシプロジェクトの発足経緯や旧赤星邸の歴史を掲載したものとして作成した。

マガジンは、2月社会実験の開催前に近隣住戸へ配布し、当日にも配布した。





図 3-16 マガジンの仕上がり



図 3-17 マガジン (表紙・裏表紙)

On the day

●● 旧赤星鉄馬邸の



01 歴史勉強ツアー



昭和9年から残る登録有形文 化財「旧赤星鉄馬邸」の謎を解 き明かす、パネル展示を行いま した。制作チームが発表しなが ら庭園を巡るツアーも実施し、 多くの注目を集めました。

02 テーブル茶道プラック

明治~昭和初期、財界、 政界の富裕な人びとが茶の 湯に興味をもった時代に生 きた赤星鉄馬。歴史を感じ ながら庭園で茶道を行う 「テーブル茶道の体験ワーク ショップ」を行いました。



03 雜貨販売

吉祥寺にちなんだ Tシャツやトート バッグなどを制作・ 販売する、アトリエ ショップ「P&M」さ んが出店。オリジナ ルロゴTシャツ/ト トバッグを制作・販 売しました。



阿佐ヶ谷や中野を拠 点に活動するパティシ エ、ラトリエドゥタカ コさんが出店ました。 素材にこだわった焼き 菓子は、大好評でした。

04 スイーツ



自家焙煎コーヒー屋 DREAMERS COFFEEさん が、ドリップコーヒー を販売しました。庭に 設置したテラス席には、 多くの人が外での飲食 を楽しみました。





06 harvest wreathe の 子どもワークショップ

市民ワークショップで提案 のあった、子ども向けの企画。 庭に育つ多様な樹木を活かし たリース作りのワークショッ プは多くの子どもたちが参加 しました。





07 親子ヨガ

特別講師のレクチャーに よって、ヨガを実施しまし た。午後のゆったりした時 間の中、世代を問わず、庭 の豊かな自然を感じながら 楽しみました。

08 ナイトシアター 夜の部では、赤星邸の壁をスク リーンに見立て、野外で映画の 上映会を開催しました。公開タ イトルは、「人生フルーツ」。旧 赤星邸を設計したレーモンドの 弟子、津端修一夫妻のドキュメ

図 3-18 マガジン(P2、P3)



Survey 社会実験当日の調査について

社会実験開催時はアクティビティを測るための調査を行い、効果検証を行いました。こ こでは、アンケート調査、滞留調査、コンテンツボードでの調査結果を載せています。 (より詳細な結果は、武蔵野市 HP にて公開しています。)

■アンケート調査

国が始め国 より詳細な 結果はこちら 国人が記

9割が社会実験に「満足した」と回答!

社会実験全体の満足度について、居住属 性を分類し解析しました。近隣から来場し た回答者の 88%が「満足」または「やや 満足」と回答しました。また、近隣以外か ら来場した回答者の 90%が「満足」また は「やや満足」と回答しました。近隣とそ れ以外の回答者の満足度に大きな差異がな いことがわかりました。



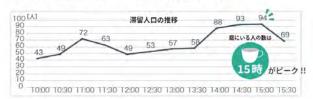
空間の5段階評価では、「居心地の良さ」が高評価に!



社会実験時の庭園の空間的な評価について、11項目を5段階で評価しました。「魅力」 「居心地の良さ」「利用意向(利用したい)」について、4.0 以上の評価点が確認できま した。一方で、「にぎやかさ」が 3.54 となり「静寂さ」が評価されている旧赤星邸な

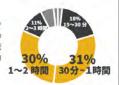
■滞留調査

O. 庭ではどのくらい「くつろげた」のか?



滞留時間傾向

社会実験時の庭園内の滞留人口は、40~100 人の間で 推移し、企画が異なる 11 時台、14 時台以降に多くの 人の来場がありました。また、来場者アンケート調査 によると、滞在時間は「30分~1時間」が31%、「1~2時間」 が30%と多く、一定時間の滞在が確認できました。



■コンテンツボードの調査

Q.「この庭、どう使いたい?」 20 4 ファーマーズマーケット こともマルシェ 旧赤星郎のライトアップ 手作りマップ体験 8 旧赤星郎のスケッチ 5



赤星鉄馬は、明治生まれの

実業家で日本初の学術財団「啓

明会」を立ち上げ、幅広い分 野の研究者たちを支援したこ

とで知られています。

会場内で「この庭、どう使いたい?」をテーマにワークショップを実施しました。 市民ワークショップであげられた意見の中で、社会実験の企画としては実施しなかっ たコンテンツについて、来場者にヒアリングを行いました。コンテンツボードでは、「お 庭で音楽」が68件と最も多く、次いで「焚火」が多い結果でした。また、その他自 由に記述できるワークショップボードでは、子どもに関する活動・遊戯・運動に着目 した企画に関する声も多く上がりました。

居心地のよい空間デザインが実現できた。今後は、旧赤星郎と庭の一体 調査結果からわかったこと 的な活用について、さらにチャレンジできる可能性を探っていきたい。

旧赤星鉄馬邸について

図 3-19 マガジン (P4、P5)

って何? niwa * Project

らではの結果となりました。



=「未来へつなぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」



武蔵野市では、アントニン・レーモ ンド設計の旧赤星鉄馬邸の保存と、緑 豊かな庭との一体的な利活用により、 この環境を将来につないでいくことを

目指しています。 そこで、市民ワークショップから出 された利活用アイデアを踏まえて、社 会実験を企画・実施する「未来へつな ぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」がス タートしました。

建物の設計は アント

▲旧赤星鉄馬邸外観



ニン・レーモンド

旧赤星邸は、日本モダニズム建築の先駆 者、アントニン・レーモンドの設計によっ て建てられた鉄筋コンクリート造で地階付 き2階建ての大規模住宅です。約 4,500 ㎡ の敷地内には緑豊かな庭と共に、市が指定 した 32 本の保存樹木があります。レーモ ンドは、近代建築の三大巨匠のひとり、 ランク・ロイド・ライトの助手として来日 し、長年日本で活用した建築家で、設計し た建築は今もなお注目を集めています。

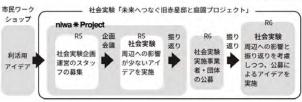
▲旧赤星鉄馬邸 庭園

旧赤星郎は昭和9 (1934) 年に竣工しま したが、昭和 19 (1944) 年には陸軍に接収 され、戦後は GHQ に接収されました。そし て昭和 31 (1956) 年、カトリック・ナミュー ル・ノートルダム修道女会の所有となり、 シスターたちが丁寧に手入れをしながら、 -部増改築を経て修道院として使われるこ とになります。その後、市が取得し、国登 録有形文化財として登録され、現在に至り ます。大切に建物の歴史を繋いできたこと で 90 年が経った今もこのような綺麗な状態 が保たれているのです。

▲当日の集合写真

プロジェクトの実施にあたっては、令和 5 (2023) 年7月に公募により武蔵野市在 住在勤の企画・運営スタッフ 25 名が選出 されました。スタッフにより、「niwa* Project」と名付けられ、4回の企画会議を 経て、令和5年11月5日(日)に第1回 社会実験を実施しました。第2回社会実験 は令和6 (2024) 年2月4日(日) に実施 予定です。





→以降、令和 10(2028)年度中のオープンを目指して検討を進めています



(2) SNSの情報配信

社会実験の実施について効果的に広報するため、Instagram の情報発信を用いて、活動報告・お知らせを行なった。

表 3-8 SNS の実施概要

	表 3-8 SNS の美施機安
項目	概要
アカウント情報	旧赤星鉄馬邸(武蔵野市) @kyuakaboshitei
	kyuakaboshitel プロフィールを開発 アーカイブを見る 原物ツル O new poster DRISSE フォロワー200人 フォロー中2人 BREAKE (JEMPA) Hape Tack Concentration (JEMPA) Week City musashine (Jegiphice)inholphicasia_kelkalu/opposition/uku/uku/uku/uku/uku/uku/uku/uku/uku/uk
	第五フチングも第三 (組合を配し、まかり 記念
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	F SEAD-DUCKER BRUTE BATTOUS AD-IL 39 LUTLUS I
期間	2023年9月5日~2024年3月25日
投稿数	62件
フォロワー数	290人
ハッシュタグの	合計 13 種類のベースとなるハッシュタグを使用し、投稿内容によっては関連のハッシュタグをくわえて投稿した。
効果	<ベースのタグ>
	#niwa*project #ニワボシプロジェクト #旧赤星鉄馬邸 #旧赤星邸 #アントニンレーモンド #レーモンド建築 #登録有形文化財 #社会実験 #武蔵野市 #武蔵野 #吉祥寺 #建物 #庭園 <投稿ごとの関連タグ> #フード #カフェ #武蔵野グルメ #吉祥寺 #シフク食堂 #スープ #建築家 #レーモンド設計事務所
	│ #テーブルトーク #清水忠男 #コミュニティデザイン #茶道 #ワークショップ #企画会議 #歴史 #│ パネル展示 #建築 #館内ツアー #演奏 #地元 #アーティスト #スポーツ #子ども #小学生 #親子など
 投稿の種類	写真 動画 ストーリーズ
最もリーチした	KYUAKABOSHITEI KYUAKABOSHITEI 按稿
投稿	kyuakaboshitei ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	旧赤星鉄馬即の庭園活用社会実験 インサイトを見る 投稿を重信
	□ いいね! 51件 kyuakaboshitei 社会実験もいよいよ終盤。 たくさんの方に来ていただけて嬉しいです・3 続きを読む □ 次場いただいた皆様、ありがとうございま 続きを読む
	リーチしたアカウントの数:291 リーチしたアカウントの数:1046 リーチしたアカウントの数:110 「いいね!」の数:59 「いいね!」の数:3



(3) ショートサイズ動画の作成

ショートサイズ動画は、インスタグラム投稿用に 11 月社会実験動画の前半部分 (52 分)、後半部分 (47 分)を作成し、配信した。







図 3-21 11月社会実験動画(前半部分)







図 3-22 11 月社会実験動画(後半部分)

3.3 必要な資機材等の調整

(1) 社会実験準備物の調整

必要な資機材については、市と分担し、準備物一覧表で整理し、調整した。

表 3-9 準備物一覧表 (11 月社会実験)

		椅子、机・テーブル、ゴザ、テント、タープ、イーゼ				
会場準備物		ル、コードリール、カラーコーン、会場内案内板、調査				
		備品等				
	カフェ	椅子、机、テント、A 型看板、屋台設備				
	マルシェ	椅子、机、テント、A 型看板				
	歴史情報発信	冊子(ZINE)、展示パネル				
各企画準備物	₩7.Ы.\.¬> A	椅子、ゴザ、視聴用 DVD、スピーカー、プロジェクタ				
	野外シアター	ー、広告パネル、DVD プレイヤー、照明				
	こども企画	椅子、机、A 型看板、ヨガマット、マイク、アンプ、ポー				
	ここの正回	タブル電源				

表 3-10 準備物一覧表 (2 月社会実験)

		椅子、机・テーブル、ゴザ、パラソルヒーター、テン				
会場準備物		ト、イーゼル、コードリール、カラーコーン、ごみ箱セ				
		ット、ブランケット、会場内案内板、調査備品等				
	飲食(フード)	椅子、机、テント、A 型看板、パーテーション、屋台設備				
	音楽・語り	椅子、机、A 型看板				
各企画準備物	学び	椅子、机、缶バッチ、展示パネル、パンフレット、再生				
谷正四华佣物		端末、プロジェクター、スクリーン				
	こども企画	椅子、机、イーゼル、パネル、カルタ、ゴルフセット、				
		缶バッチ				

(2) 飲食系の提供による保健所の調整

社会実験の企画の中で飲食系の企画があったことから保健所協議・調整を行い、「行事開催届」 「行事における臨時出店届」許認可を得た上で実施した。



3.4 効果検証

(1) アクティビティ調査

① 調査実施計画

本調査は、社会実験時において、屋外空間の利用状況に関するアクティビティ調査を実施し、旧赤星邸周辺に滞在する利用者数、利用者属性、活動内容を把握することで、旧赤星邸の耐震改修及び、庭(公園)と一体的な整備利用に向けた検討に活用する。

調査の実施にあたっては、定点カメラにより記録し、後日映像確認により1時間ごとのアクティビティ状況を確認した。

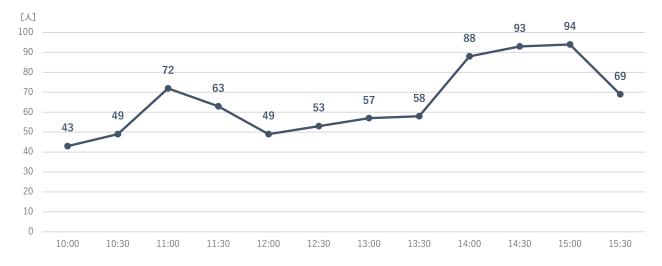
表 3-11 調査実施概要

調査時期	2023年11月5日(日)、2024年2月4日(日)							
アクティビティ	・国籍(日本/海外)							
調査項目	・グループ(一人/複数(友人・同僚、親子・家族、夫婦・カップル))							
	・性別(男性/女性/その他・不明)							
	年代(0-10/11-19/20-39/40-59/60以上)							
	・日当たり(日陰/日向)							
	・姿勢(立つ(路面)/座る(ベンチ等)/座る(地面等)/寝そべる)							
	・アクティビティの種類 他							

② 調査結果のまとめ

A) 11 月社会実験の滞留状況

11 月社会実験時の庭園内の滞留人口は、40~100 人の間で推移し、企画が重なる 11 時台、14 時以降に多くの人が来場した。



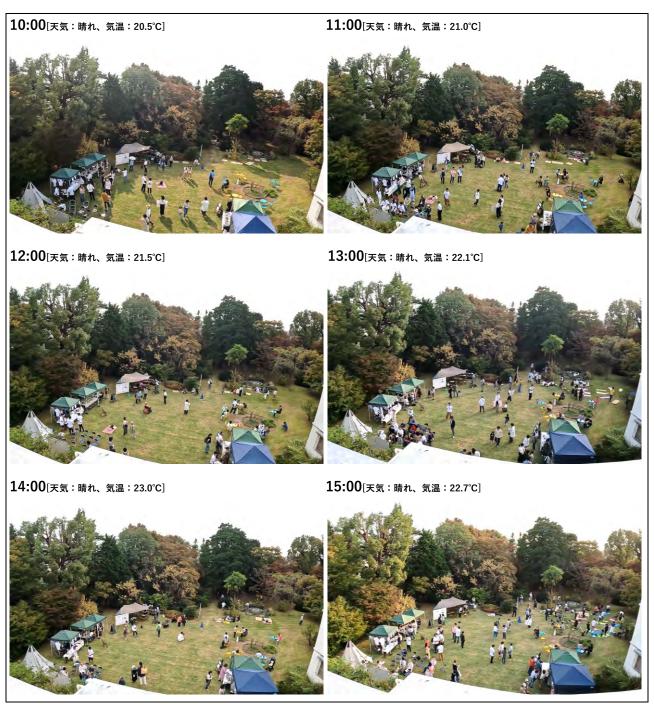
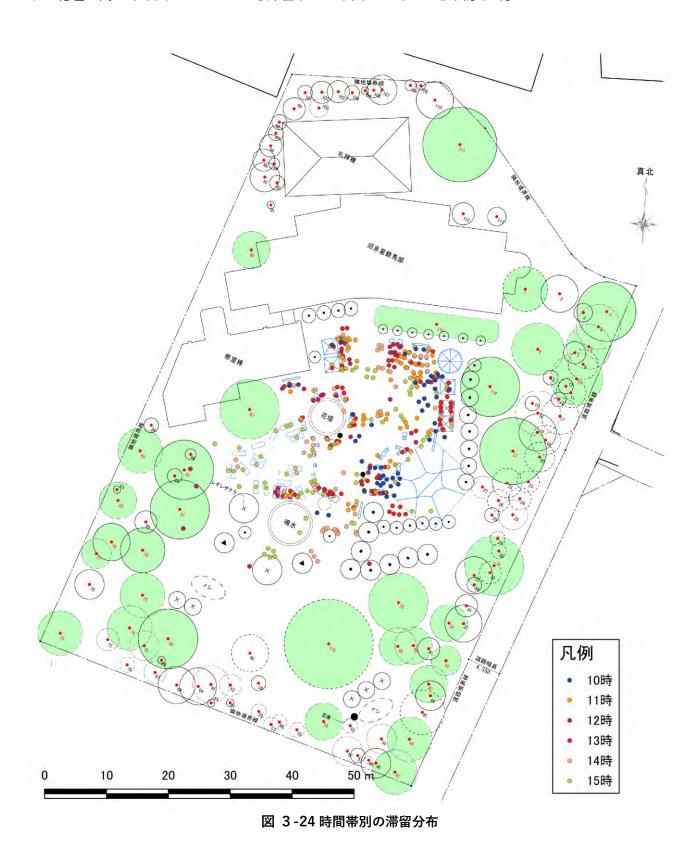


図 3-23 定点カメラよる滞留状況

B) 11月社会実験のアクティビティ

企画テントや椅子やゴザ等の滞留スペースに集中した滞在が見られた。14 時台、15 時台には、テントと花壇の間にある広いスペースにも滞在している人がいたことを確認した。



YNJ/

滞在者の属性としては、30 歳台、40 歳台の人が多い傾向にあり、各時間でコンスタントに滞在していた。また、親子・家族についてもコンスタントに滞在していたことが確認できた。

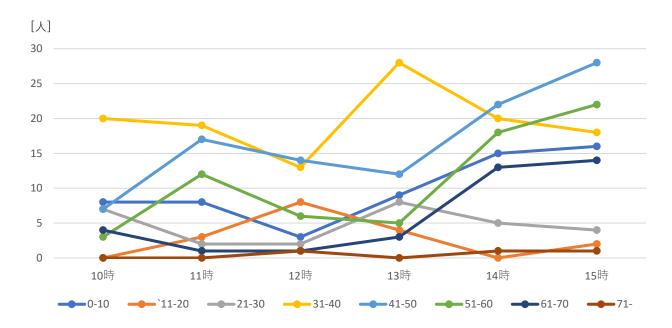
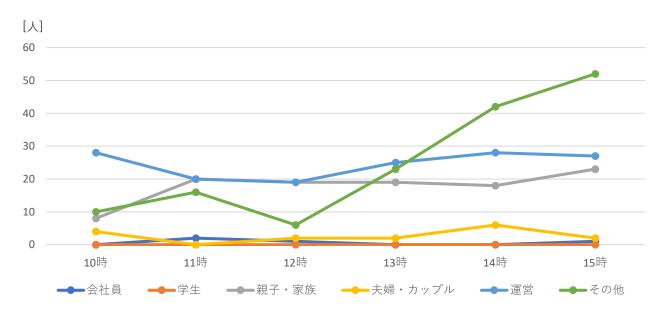


図 3-25年齢別の滞在推移



※その他は、会社員、学生、親子・家族、夫婦・カップル、運営以外の属性

図 3-26 グループ属性別の滞在推移

滞在者の姿勢については、立って滞在する人が最も多い傾向にあった。また、可動椅子やゴザへ座る動きは一定数見られたものの、芝生に座るような滞在はほぼ見られなかった。着座するタイプの稼働什器は社会実験中ほぼ使われていたため、今後数の調整が必要である。

また、庭園内での活動の多くが社会活動となっており、会話やWS等の企画で参加・交流するような 旧赤星邸の庭園で多種多様な交流活動が確認できた。

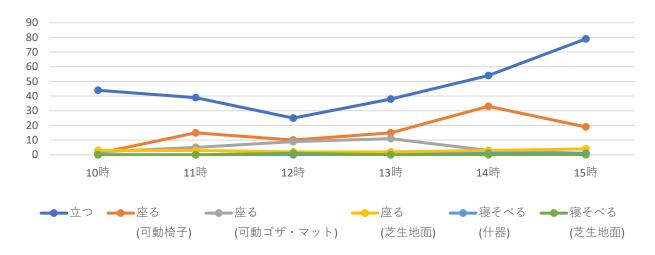


図 3-27 滞在時の姿勢別の滞在推移

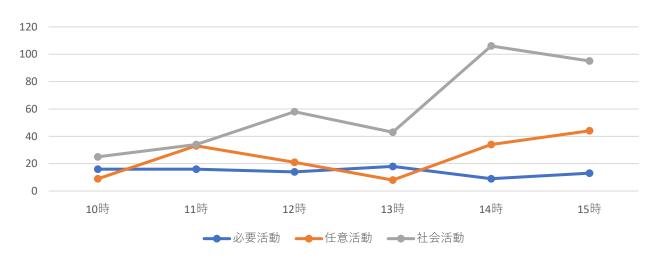


図 3-28 滞在時の姿勢別の滞在推移

活動種別 定義 確認活動 必要活動 義務的で必要に迫られて行う活動 働く、待つ、何もせず一休み、荷物整理、通 話、スマホ操作、犬の散歩 任意活動 物理条件に大きく左右され、条件が最適 飲む、食べる、本など読む、写真撮る、買い な時に自然発生する活動 物をする、作業する、身体動かす、展示等を 見る、寝る 複数の利用者が存在することによるコミ 会話、WS に参加、子どもたちの遊び、人を 社会活動 ュニケーションや出会いに基づく活動 眺める

表 3-12活動種別の定義

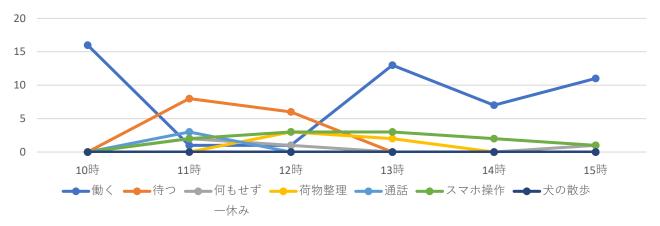


図 3-29 滞在時の必要活動の推移

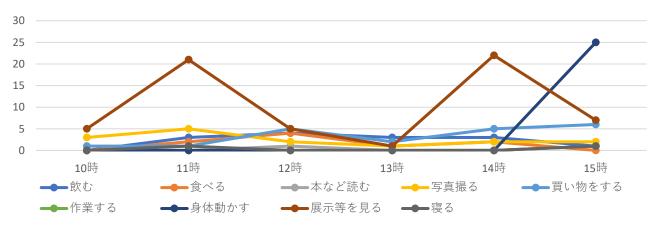


図 3-30 滞在時の任意活動の推移

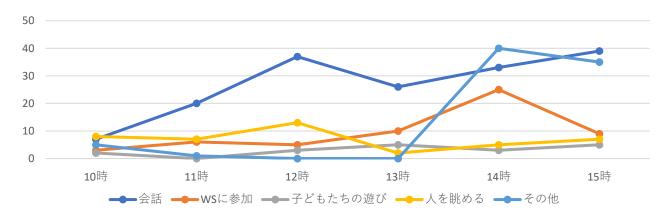


図 3-31 滞在時の社会活動の推移

C) 2月社会実験の滞留状況

社会実験時の建物・庭園内の全体滞留人口は、 40~190人の間で推移し、平均130人程度の滞留が あった。

庭園内の滞留人口を 11 月社会実験と比較すると、12~13 時の間で上回る滞留が見られた。

各エリア・諸室別にみると、庭(芝部分)の 12 時台、14 時台で滞留が多く見られた。また、居間、礼拝棟聖堂、日本間で企画がある時間帯には、企画を楽しむ人の滞留が見られた。



図 3-32 滞留カウントのゾーン分類

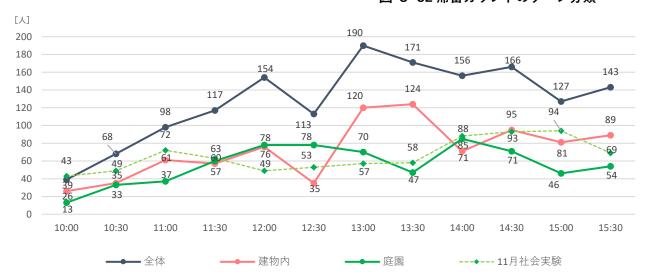


図 3-33 建物内と庭園の滞在状況の比較

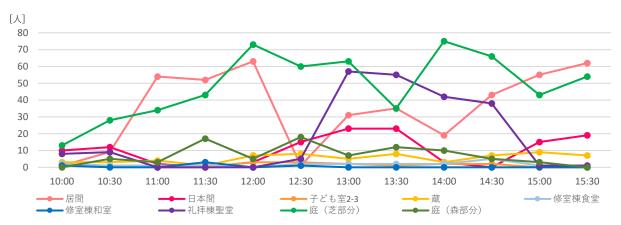


図 3-34 各ゾーンの滞在状況の比較

▼定点カメラよる庭園の滞留状況



図 3-35 定点カメラよる滞留状況

(2) アンケート調査(来場者対象)

① 調査実施計画

本調査は、社会実験時において、屋外空間の利用状況や企画の内容に関してアンケート調査を実施し、旧赤星邸利活用に向けた意向や当社会実験の満足度等を把握することで、庭と一体的な利活用に向けた検討に活用する。

調査の実施にあたっては、社会実験当日に調査員がアンケートシート(タブレット)をもって聞き取り形式で調査を実施した。

	N C TO MILE CARRIED
調査時期	2023年11月5日(日)、2024年2月4日(日)(※各回社会実験時)
調査手法	タブレット入力による聞き取り調査
有効回答数	55 件(11 月社会実験)、61 件(2 月社会実験)
アクティビティ	・社会実験について(各企画の利用、滞在時間、満足度等)
調査項目	・告知について
	・旧赤星邸について
	・今後の利用について
	・回答者属性

表 3-13調査実施概要

② 調査結果のまとめ

A) 社会実験全体の満足度

【「旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験」に参加して、全体的にどのくらい満足していますか?】に対して以下の回答が得られた。

11月の社会実験全体の満足度については、回答者の89%が「満足」または「やや満足」と回答した。さらに、2月の社会実験全体の満足度については、回答者の93%が「満足」または「やや満足」と回答し、「やや不満」「不満」の回答はなかった。

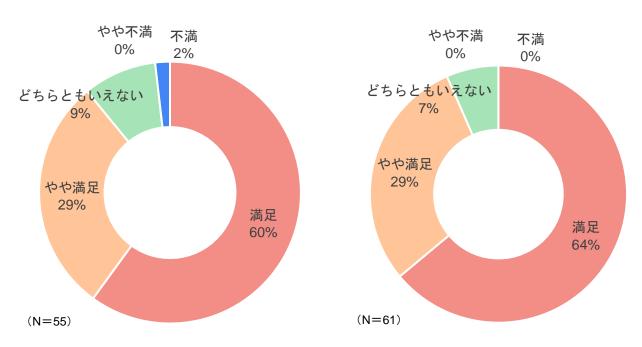


図 3-36 社会実験全体の満足度(左:11月、右:2月)

11月社会実験の満足度評価の理由としては、「空間・心地のよさ」や「楽しさ」に関する理由が多くあり、庭園での滞留・活動の可能性について評価できた。また、「旧赤星邸自体」や「学び」に関する理由もあり、滞在しながら歴史等を学ぶことができたことについて評価できた。

一方で、建物内部の見学がなかったことやバリアフリーの入りにくさが指摘された。

[評価できる理由]

- ●空間・心地よさ 15 件(くつろげる、居心地がいい、雰囲気が良い、庭が広くて気持ち良い、芝生が気持ちいい等)
- ●旧赤星邸自体 7 件(前々から入ってみたかったから、目に触れられない文化財を見ることができた、地域の風土や 伝統を感じた 等)
- ●楽しさ 8 件(遊んだ、子どもと一緒に楽しく過ごすことができた、沢山の来場者、テントの内容、素晴らしいです等)
- ●学び 3 件 (知らなかった事を学べて楽しかったです、普段公開されていない場所を解説付きで見られたのがよかった 等)
- ●飲食 2 件(広いお庭でのカフェ気持ちいい、食と座る空間が充実していたから)
- ●社会実験自体 3 件(歴史ある建物の話を地域の皆さんの手で活用しようとしているので、普段このようなイベントはないから等)

[課題となる理由]

- ●旧赤星邸自体 4 件(建物の中が見れなかった、内部をみたかった、中が見られない、剪定をした方がいい 等)
- ●楽しさ2件(遊びがもう少し欲しい、音響的にやや難あり?)
- ●福祉面1件(バリアフリーがまったくダメ)
- ●社会実験自体1件(予約制のイベントばかり)

2 月社会実験の満足度評価の理由としては、「企画の充実」が最も多く、次いで「旧赤星邸自体」や「社会実験自体」に関する理由が多くあり、多種多様な企画を付加した利活用の可能性について評価できた。特に、「企画の充実」の中で飲食を評価する理由が 22 件中 12 件を占めており、庭園でのゆっくり食事ができることについて評価された。

一方で、建物内の見学(特に2階)や利活用・保全について指摘された。

[評価できる理由]

●企画の充実 21 件 (カルタに参加できた、色々なイベントと美味しいフード・音楽・展示等盛り沢山で楽しめました 等)

(内訳) 企画全体: 4 件、飲食: 12 件、子ども: 7 件、音楽: 5 件、学び3 件 ※複数分野の理由があるため、合計は一致しない

- ●旧赤星邸自体 8 件(貴重な建物を見られて良い、当時のままで保存したていただいた施設は珍しく文化の街としての誇り等)
- ●社会実験自体 7 件(この場所を活用すること自体が良い、旧赤星邸活用を近隣でできたのが良かった、全て機能的等)
- ●居心地のよさ3件(くつろげる場所があり満足・広場での子供ものびのびできる、のんびりした 等)
- ●庭園1件(庭がひろく季節感ある植物)

「課題となる理由」

- ●建物内の見学 6 件(2 階も見られたらよかった、履き物が必要なのが不便か、建築ツアーに行けなかった 等)
- ●利活用1件(武蔵野市の歴史的な建築の利活用が不十分)
- ●保全1件(内観が当時のものが残されてなかったから)



B) 各回答者のコンテンツ利用状況

【本日の社会実験で、どのコンテンツを利用しましたか?または利用する予定ですか?】に対して 以下の回答が得られた。

11 月社会実験では、将来的に望まれる活動・活用については、「休憩・会話」が 41 件、「飲食」が 37 件と多く、日常的に利用できる活動・活用が望まれている。次いで、「地域活動の場」が 30 件と多い。

2月社会実験では、将来的に望まれる活動・活用については、「アート」が38件、「飲食」が37件、「休憩・会話」が37件、「地域活動の場」が36件と多く、文化的な利用や日常的に利用できる活動・活用が望まれている。

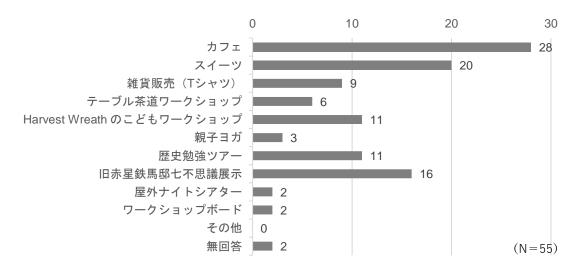


図 3-37 各回答者のコンテンツ利用状況 (11月)

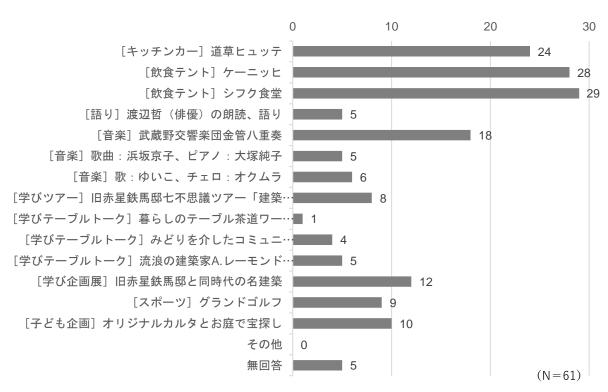


図 3-38 各回答者のコンテンツ利用状況 (2月)



C) 来場時間帯

【本日のイベントの来場時間帯を教えてください。】に対して以下の回答が得られた。

11 月社会実験、2 月社会実験ともに、10 時台で最も多い入場があった。また、各回の特徴として、11 月社会実験ではヨガ(企画)の開始前に次いで多くの来場が見られたことに対し、2 月社会実験では昼の時間帯に多くの来場あった。さらに、2 月社会実験は、終了間際までコンスタントに来場があった。

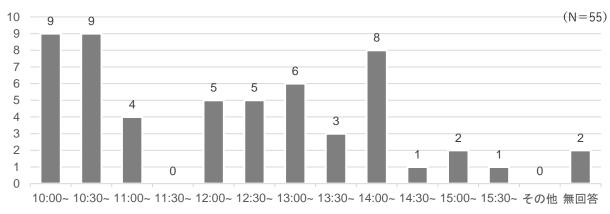


図 3-39 来場時間帯(11月)

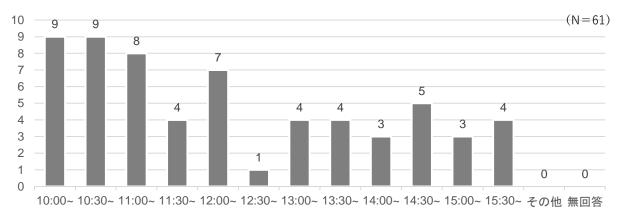
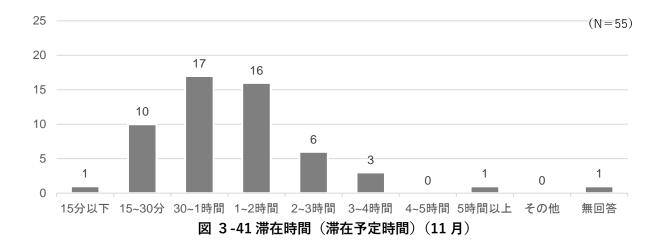


図 3-40 来場時間帯 (2月)

D) 滞在時間(滞在予定時間)

【本日のイベントの滞在時間(滞在予定時間)を教えてください。】に対して以下の回答が得られた。 11 月社会実験の滞留時間は、「 $30\sim1$ 時間」が 31%、「 $1\sim2$ 時間」が 30%と多く、一定時間の滞在が確認できた。2 月社会実験の滞留時間は、「 $1\sim2$ 時間」が 39%と最も多く、次いで「 $2\sim3$ 時間」が 21%と多かった。

また、各回で比較すると 30 分~1 時間程度の滞在時間の増加が見られ、建物内外の多種類のコンテンツ企画の実施により、滞在時間増加に寄与したと推察される。



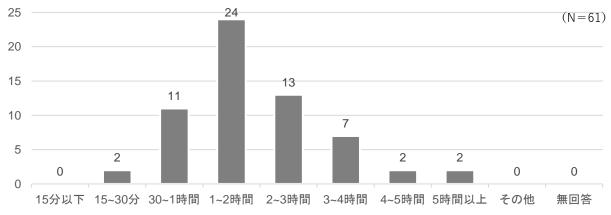


図 3-42 滞在時間(滞在予定時間)(2月)

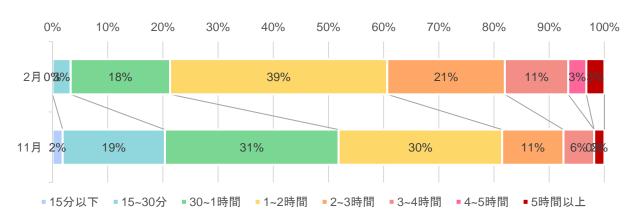


図 3-43 滞在時間(滞在予定時間)の比較

各回の滞在時間帯を分類別に確認すると、2月の社会実験は昼を跨いだ滞在が48%と、11月の社会実験(21%)と比べて増加した。食事コンテンツが3店舗出店したことにより昼間滞在者が増えたと推察される。

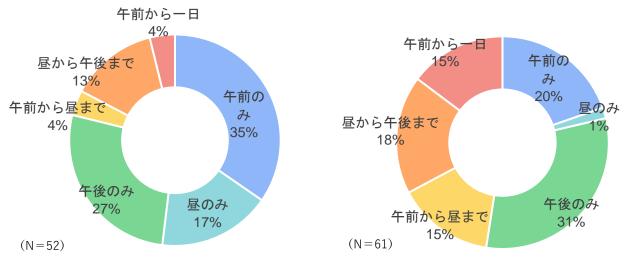


図 3-44 各回答者のコンテンツ利用状況 (左:11 月、右:2月)

▲滞在時間帯の分類(2月社会実験)

▲滞在時間帯の分類(11 月社会実験)

E) 社会実験時の空間的印象

【社会実験中の庭園について空間的な印象を評価してください。】に対して以下の回答が得られた。 社会実験時の庭園の空間的な評価について、11 項目を 5 段階で評価した。各回共通して、「魅力」 「居心地が良さ」「利用意向」について、4.0 以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点と しては、「にぎやかさ」があり、平常時の静かな印象を残したまま魅力、居心地のよさ等を感じる空間 であった。

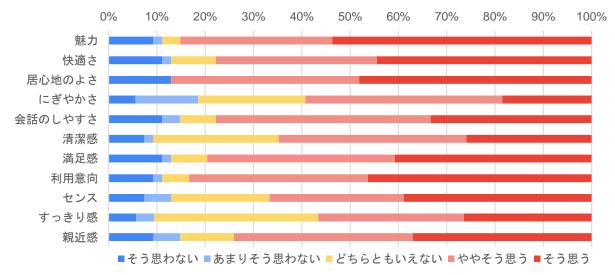


図 3-45 社会実験時の空間的印象(11月)

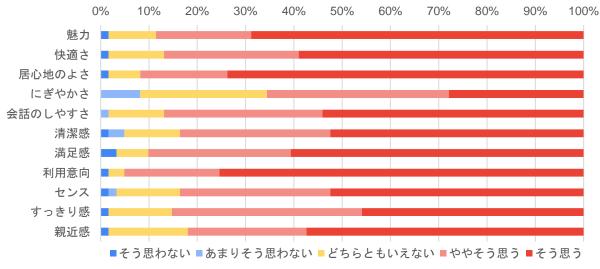


図 3-46 社会実験時の空間的印象(2月)

2 月社会実験を 11 月社会実験の空間的評価と比較すると、全体で評点増加が見られた。特に「すっきり感」「利用意向」「清潔感」が増加していることが確認できた。

表 3-14 各回の点数化による比較

指標	評価点		増減
	11月(第1回)	2月(第2回)	
魅力	4.19	4.54	+ 0.35
快適さ	3.98	4.43	+ 0.45
居心地が良さ	4.09	4.62	+ 0.53
にぎやかさ	3.54	3.85	+ 0.31
会話しやすさ	3.85	4.39	+ 0.54
清潔感	3.74	4.30	+0.56
満足感	3.96	4.44	+ 0.48
利用意向	4.09	4.67	+0.58
センス	3.85	4.31	+ 0.46
すっきり感	3.68	4.28	+0.60
親近感	3.87	4.36	+ 0.49

※評価点:5段階評価を得点化(段階ごとで1点~5点に配点)し、有効回答数で除した値

F) 社会実験の事前認知状況

【当社会実験は、事前にご存じでしたか?】に対して以下の回答が得られた。

社会実験の事前認知状況については、認知していた回答者が 11 月社会実験で 80%、2 月社会実験で 74%と、7~8 割が認知した上で来場していることが分かった。



図 3-47 社会実験の事前認知状況(左:11月、右:2月)

G) 社会実験情報ソース

【どこから情報を得ましたか?】に対して以下の回答が得られた。

社会実験の情報ソースについては、11 月、2 月ともに「チラシ、施設に貼ってあったポスター」が最も多かった。近隣や各施設に配布・掲示したチラシ・ポスターが集客に効果的であったことを確認した。

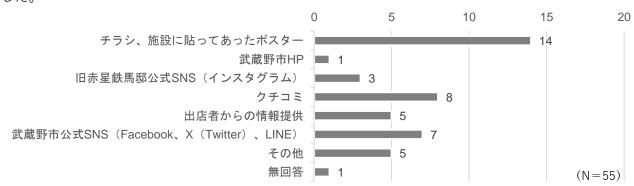


図 3-48 社会実験情報ソース (11月)

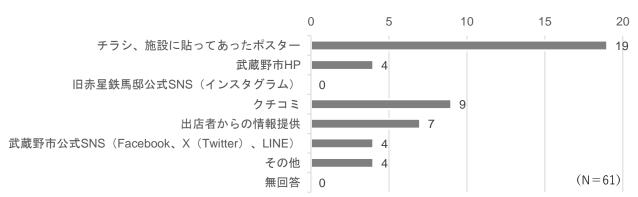


図 3-49 社会実験情報ソース (2月)



H) 旧赤星邸の認知状況

【以前から旧赤星鉄馬邸を知っていますか?】に対して以下の回答が得られた。

来場者の旧赤星邸の認知状況については、11月社会実験で69%、2月社会実験で64%が「認知している(はい)」と回答した。

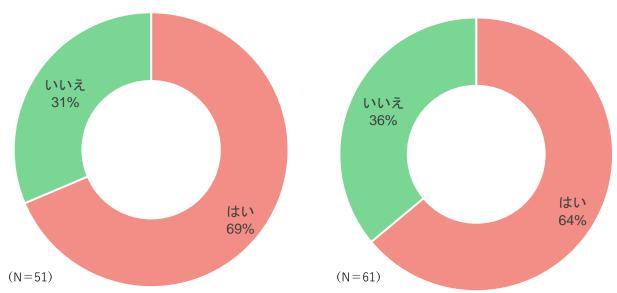


図 3-50 旧赤星邸の事前認知状況(左:11月、右:2月)

I) 以前から旧赤星邸を知る人が思う普段の印象

11 月社会実験の回答者が持つ普段の印象としては、歴史・文化的な財産としての印象がある一方で、閉鎖的な印象を持つ人も一定数確認した。

- ●歴史・文化8件(歴史的な建物と庭、地域の文化財、残ってよかった、モダン等)
- ●閉鎖的8件(塀が高く近寄りづらい感じがしていた、暗いイメージ、入れない、謎、暗く閉鎖的 等)
- ●その他8件(思ったより緑がある、静かな感じ、地味な感じ、有名な建築や赤星邸とは知らなかった等)

2 月社会実験の回答者が持つ普段の印象としては、「貴重な建築物・文化財」としての印象が最も多く、次いで「修道院」「広く落ち着いた場所」としての印象があった。一方で、「閉塞的な空間」「わからない空間」等、普段立ち入れない空間であることから、課題となる印象を持たれている人もいた。

[良い印象]

- ●貴重な建築物・文化財 13 件(歴史的建造物、佇まいが美しい、文化財を今後も残していって欲しい等)
- ●修道院5件(修道院のイメージ・男が入れない、シスターがよくすれ違っていた等)
- ●広く落ち着いた場所 7 件(広い家があるくらい、広い空間・素晴らしい建築をぜひ残してほしい、ゆったり落ち着いている等)

[課題となる印象]

- ●閉塞的な空間 6 件 (閉じられた空間、四季に一回は開放してほしい等)
- ●わからない空間 4 件(ここはなんだろう、何の建物かわからない、怪しい建物 等)



J) 旧赤星邸の過去来訪の有無

【以前、建物見学などで旧赤星鉄馬邸を訪れたことがありますか?】に対して以下の回答が得られた。

来場者の旧赤星邸の認知状況については、11月社会実験で69%、2月社会実験で64%が「認知している(はい)」と回答した。



図 3-51 旧赤星邸の過去来訪の有無(左:11月、右:2月)

K) 旧赤星邸の今後の活用意向

【旧赤星鉄馬邸でどのようなことができるとよいと思いますか?】に対して以下の回答が得られた。 11 月社会実験においては、将来的に望まれる活動・活用について、「休憩・会話」が 41 件、「飲食」が 37 件と多く、日常的に利用できる活動・活用が望まれている。次いで、「地域活動の場」が 30 件と多い。

2月社会実験においては、将来的に望まれる活動・活用について、「アート」が38件、「飲食」が37件、「休憩・会話」が37件、「地域活動の場」が36件と多く、文化的な利用や日常的に利用できる活動・活用が望まれている。

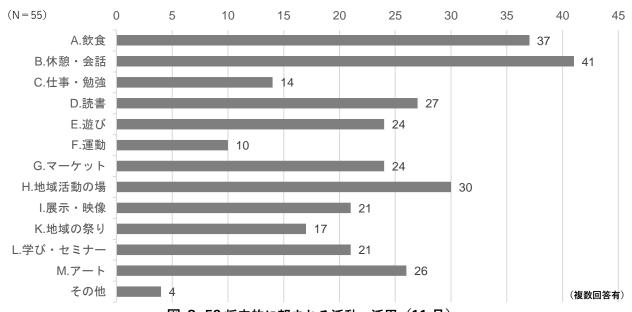


図 3-52 将来的に望まれる活動・活用(11月)

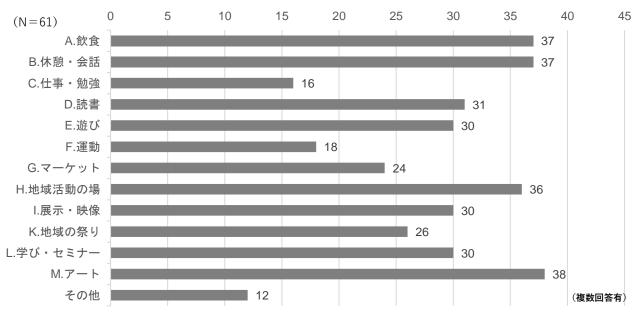


図 3-53 将来的に望まれる活動・活用(2月)

L) 性別

【あなたの性別を教えてください。】に対して以下の回答が得られた。

回答者の性別については、各回ともに女性が 55~60%の割合であった。来場者の性別で大きな差異は見られなかった。

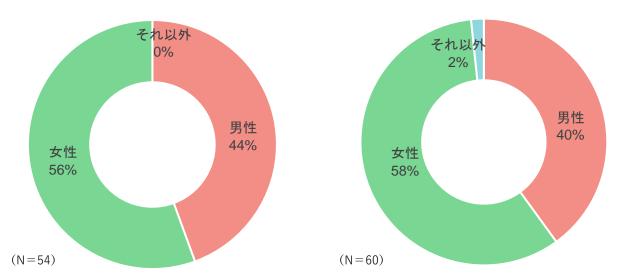


図 3-54 性別 (左:11 月、右:2月)

M)年代

【あなたの年代を教えてください。】に対して以下の回答が得られた。

回答者の年代については、11 月社会実験は40 代が31% と最も多かったことに対し、2 月社会実験は50 代が24% と最も多かった。

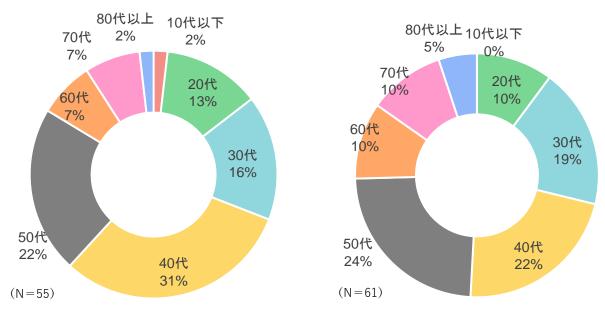


図 3-55年代(左:11月、右:2月)

N) 居住地

【あなたの居住地を教えてください。】に対して以下の回答が得られた。

回答者の居住地については、各回とも旧赤星鉄馬邸付近、武蔵野市、都内でそれぞれ3割程度を占めており、近隣から遠方と、バランスの良い来場者属性が確認できた。

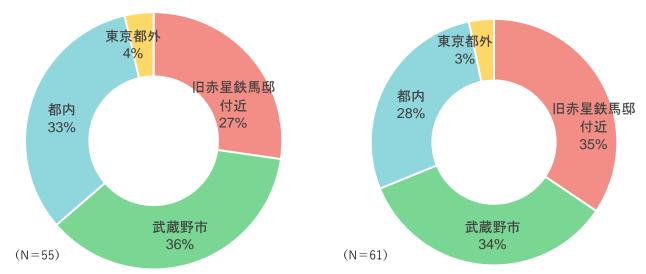


図 3-56 居住地 (左:11 月、右:2月)

O) 会場までの移動手段

【本日のイベント会場までの最も主要な移動手段を教えてください。】に対して以下の回答が得られた。

回答者の居住地については、各回とも旧赤星鉄馬邸付近、武蔵野市、都内でそれぞれ3割程度を占めており、近隣から遠方と、バランスの良い来場者属性が確認できた。

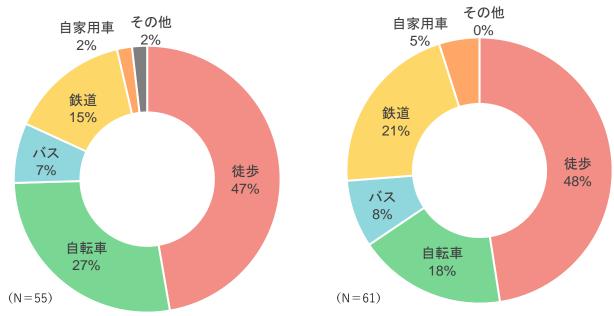


図 3-57 会場までの移動手段(左:11月、右:2月)

P) 来場グループ

【本日はどなたと一緒にいらっしゃいましたか?】に対して以下の回答が得られた。

回答者の来場グループについては、各回とも「家族(子供を含む)」が最も多く、子供も楽しめる企 画が多かったことによるものと推察される。

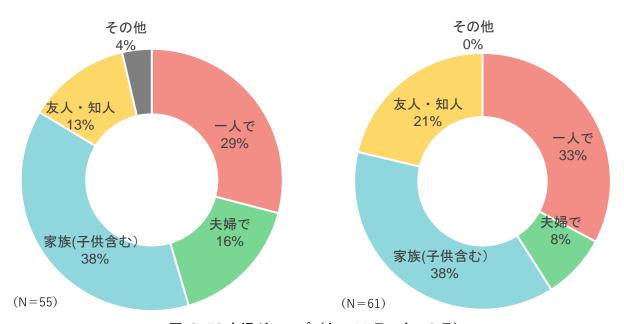


図 3-58 来場グループ (左:11 月、右:2月)

(3) 音環境測定

① 調査実施計画

旧赤星邸の社会実験にあたり、近隣住宅へ音の影響について定量的に計測し、今後の活動規模を検 討することを目的とする。調査の実施にあたっては、平常時と社会実験時の2時点で実施した。

表 3-15 調査実施概要

調査日時	【社会実験時】2023年11月5日(日)10時~16時、2024年2月4日(日)10時~16時
	【平 常 時】2023年12月20日(水)10時~16時
使用機種	testo 816-1 - 普通騒音計

② 調査手法の整理

音環境調査実施にあたっては、騒音規制法の考え方を参考に測定する。参考とする資料は以下のと おりである。

(騒音規制法に基づく測定方法)

騒音規制法に基づいて工場・事業場・建設作業場で騒音を測定することは、敷地境界線における規制基準との適合状況を調べる場合が多いと考えられます。また、周辺民家から騒音苦情が発生し、その対応のために民家周辺で測定することもあります。

騒音の測定点は、騒音規制法との適合状況をみるときには、工場・事業場の敷地境界線です。 建設作業騒音についても測定点は敷地境界線となっています。

これらの測定において、マイクロホン高さは 1.2~1.5m で、通常はこの高さで測定すること になりますが、もし、騒音苦情を伴っているような場合は、「生活環境の保全の観点から事例 ごとに合理的に判断する」となっており、条件ごとに、次のように測定点を選定するのがよい と考えられています。図 1.1 に測定点選定の考え方を示します。

- a. 発生源と受音点の位置がともに低い場合
- b. 発生源が高く受音点が低い場合
- c. 発生源が低く受音点が高い場合

ケース a の場合は、測定点は敷地境界線で高さ $1.2\sim1.5$ m に設置します。

ケース b の場合は発生源の位置が高いため、測定点は発生源から受音点への直線経路上になりますが、測定が出来ない場合は、 受音点で騒音レベルを測定し、その値と発生源との距離の関係から敷地境界線上の騒音レベルを推測することも可能となります。

ケース c はケース b と逆の場合になりますがケース b と同様に考えます。

騒音の大きさの決定は、「特定工場等において発生する騒音の規 ります。例えば、定常騒音の場合はその指示値、不規則・大幅に変

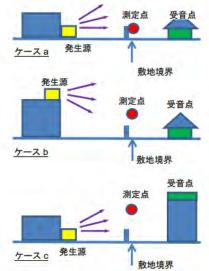


図 1.1 測定点選定の考え方

端値(LA5)となっています。建設作業騒音における評価値の決定方法も工場・事業場の場合と同様です。

騒音レベルの評価は、特定工場の場合は、朝・昼間・夕・夜間の時間帯及び区域区分ごとに 定められた 規制値と比較します。建設作業騒音の場合は、作業が昼間に限られているということと、区域区分によっ て時間帯が異なっていることに注意が必要です。

出典:騒音に関わる苦情とその解決方法(公害等調整委員会機関誌「ちょうせい」)



③ 調査機設置計画

A) 旧赤星邸周辺の近隣建物の概況

旧赤星邸の周辺については、基本的に住居用途の建築物が分布している。北側には、4 階~5 階の建物が一部立地しているが、全体的に 2 階程度の低層住宅が分布している。



図 3-59 旧赤星邸周辺の建物状況

B) 音環境計測にあたっての受音点・発音点・計測点の定義

旧赤星邸敷地の北側に位置する集合住宅への音環境計測については、上階(3 階以上)居住者への配慮を注視することから受音点を高い位置で設定する。それ以外の住宅については、2 階建て程度の規模であることから受音点を低い位置で設定する。

発音地点を庭の中央部と定義し、受音点と発音点の直線状に計測点を設定する。北側集合住宅の受音計測は、旧赤星邸の屋上に計測器を設置する。敷地周辺の低層住宅の受音計測は、敷地境界沿いの塀付近に設置する。

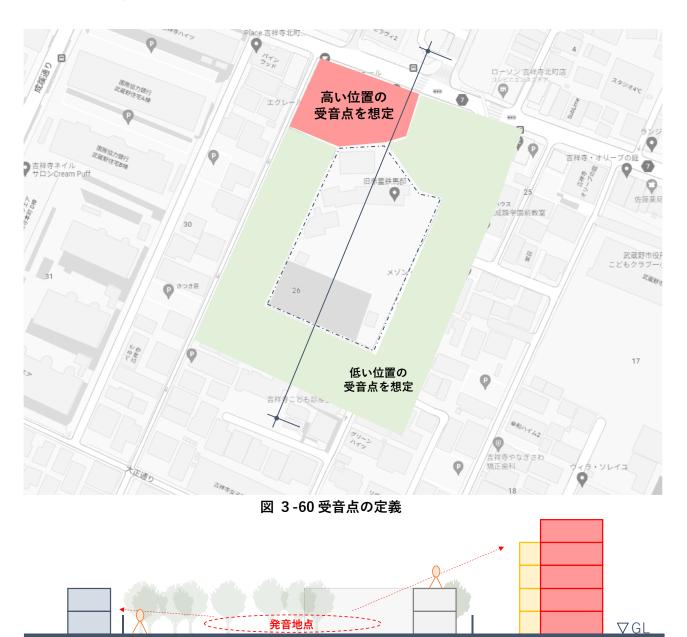


図 3-61 発音点・計測点・受音点の関係

C) 計測器の配置計画

計測器については、下図の通り、①旧赤星邸屋上、②南側隣地付近、③西側隣地付近の3地点で計測

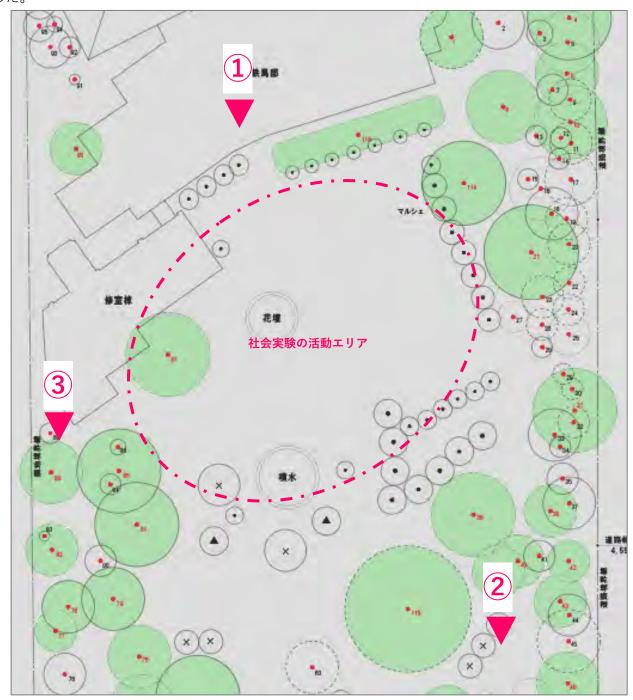


図 3-62 計測器の配置計画

④ 調査結果のまとめ

A) 11 月社会実験と平常時調査の比較

11 月社会実験の音環境は、環境基本法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調査における音レベルの平均値は、住居地域^{**}の昼間の基準値(55dB 以下)を下回る若しくはそれ相当の数値となった。

一方で、一時的に鳥の鳴き声や調査機付近での会話等で一時的に高数値になることはあるが、継続的 なものではなかった。

平常時と比較すると約 4.5~5.5dB 大きくなっていることを確認した。

※単位は、音レベル (dB)

※環境基本法に規定する環境基準における地域の類型 A 及び B を「住居地域」と定義した。

表 3-16 音環境調査結果概要(社会実験時)

	1	旧赤星邸屋.	Ŀ	②南側隣地付近			③西側隣地付近			
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	
10:00	50.35	62.90	44.70	46.04	60.20	37.60	ı	ı	-	
11:00	49.65	59.10	43.10	46.14	58.80	39.10	45.04	51.10	38.50	
12:00	48.46	56.10	42.80	55.88	76.70	44.80	46.92	54.70	40.20	
13:00	50.35	56.60	45.60	50.02	62.90	43.10	45.92	63.30	39.60	
14:00	50.69	59.90	44.40	45.78	66.60	38.50	47.31	58.20	41.20	
15:00	51.92	60.10	46.10	47.86	76.30	39.20	45.92	58.20	39.30	
AVE	49.90	58.92	44.12	48.77	65.04	40.62	46.30	56.83	39.88	

表 3-17 音環境調査結果概要 (平常時)

	1	旧赤星邸屋.	Ł	②南側隣地付近			③西側隣地付近					
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN			
10:00	43.86	53.50	37.20	42.18	52.10	32.10	39.89	47.50	34.90			
11:00	44.62	59.00	38.00	37.82	54.40	32.40	39.61	50.50	33.90			
12:00	42.94	53.10	38.00	38.85	58.90	32.10	42.20	53.30	35.30			
13:00	48.63	53.10	44.80	39.63	64.40	33.60	44.95	57.80	36.90			
14:00	43.26	55.30	37.20	39.99	57.50	34.90	40.65	62.40	34.70			
15:00	45.19	63.90	39.10	40.25	60.60	32.90	41.49	50.50	35.40			
AVE	44.66	54.80	39.04	39.69	57.46	33.02	41.46	54.30	35.14			

表 3-18 音環境調査結果概要 (平常時と社会実験時の差)

	1	旧赤星邸屋.	Ŀ	②南側隣地付近			③西側隣地付近				
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN		
10:00	6.48	9.40	7.50	3.86	8.10	5.50					
11:00	5.02	0.10	5.10	8.32	4.40	6.70	5.43	0.60	4.60		
12:00	5.52	3.00	4.80	17.03	17.80	12.70	4.72	1.40	4.90		
13:00	1.72	3.50	0.80	10.39	-1.50	9.50	0.98	5.50	2.70		
14:00	7.43	4.60	7.20	5.79	9.10	3.60	6.66	-4.20	6.50		
15:00	6.73	-3.80	7.00	7.61	15.70	6.30	4.44	7.70	3.90		
AVE	5.48	2.80	5.40	8.83	8.93	7.38	4.45	2.20	4.52		

B) 2月社会実験と平常時調査の比較

2月社会実験の音環境は、環境基本法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調査における音レベルの平均値は、住居地域*の昼間の基準値(55dB以下)を下回る若しくはそれ相当の数値となった。

一方で、一時的に鳥の鳴き声や調査機付近での会話等で一時的に高数値になることはあるが、継続的 なものではなかった。

平常時と比較すると約5.5~6.5dB大きくなっていることを確認した。

※単位は、音レベル (dB)

※環境基本法に規定する環境基準における地域の類型 A 及び B を「住居地域」と定義した。

表 3-19 音環境調査結果概要(2月社会実験時)

	①旧赤星邸屋上			②南側隣地付近			③西側隣地付近			
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	
10:00	49.86	61.20	42.70	45.62	59.50	38.80	44.61	56.10	40.40	
11:00	50.83	59.30	41.40	43.34	54.10	35.70	45.60	66.50	39.50	
12:00	51.35	57.60	47.40	49.09	62.90	40.30	46.85	63.00	41.30	
13:00	52.12	64.50	47.30	46.25	69.60	39.30	47.88	76.60	40.20	
14:00	53.14	59.00	48.70	46.69	59.30	40.70	48.47	60.90	41.80	
15:00	50.56	61.40	46.50	45.77	58.90	38.40	46.86	68.80	40.30	
AVE	51.31	60.50	45.67	46.13	60.72	38.87	46.71	65.32	40.58	

表 3-20 音環境調査結果概要 (平常時)

	1	旧赤星邸屋.	Ŀ	②南側隣地付近			③西側隣地付近			
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	
10:00	43.86	53.50	37.20	42.18	52.10	32.10	39.89	47.50	34.90	
11:00	44.62	59.00	38.00	37.82	54.40	32.40	39.61	50.50	33.90	
12:00	42.94	53.10	38.00	38.85	58.90	32.10	42.20	53.30	35.30	
13:00	48.63	53.10	44.80	39.63	64.40	33.60	44.95	57.80	36.90	
14:00	43.26	55.30	37.20	39.99	57.50	34.90	40.65	62.40	34.70	
15:00	45.19	63.90	39.10	40.25	60.60	32.90	41.49	50.50	35.40	
AVE	44.66	54.80	39.04	39.69	57.46	33.02	41.46	54.30	35.14	

表 3-21 音環境調査結果概要 (平常時と2月社会実験時の差)

	①旧赤星邸屋上			②南側隣地付近			③西側隣地付近		
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN
10:00	6.00	7.70	5.50	3.44	7.40	6.70	4.73	8.60	5.50
11:00	6.20	0.30	3.40	5.52	-0.30	3.30	6.00	16.00	5.60
12:00	8.41	4.50	9.40	10.25	4.00	8.20	4.65	9.70	6.00
13:00	3.49	11.40	2.50	6.62	5.20	5.70	2.93	18.80	3.30
14:00	9.89	3.70	11.50	6.70	1.80	5.80	7.83	-1.50	7.10
15:00	5.37	-2.50	7.40	5.52	-1.70	5.50	5.37	18.30	4.90
AVE	6.56	4.18	6.62	6.34	2.73	5.87	5.25	11.65	5.40



C) 各回の音レベルの発現回数の推移

社会実験時と平常時の音レベルの発現回数を比較すると、各社会実験の局所的な大きい音による音レベルの増大ではなく、全体的に 5~10dB ほど変異が見られるため、社会実験通して音環境が増大していることが分かった。また、社会実験時、平常時ともに屋上の音レベルが大きく、周辺が樹木に覆われ上部に音が抜けやすくなっていると推察する。

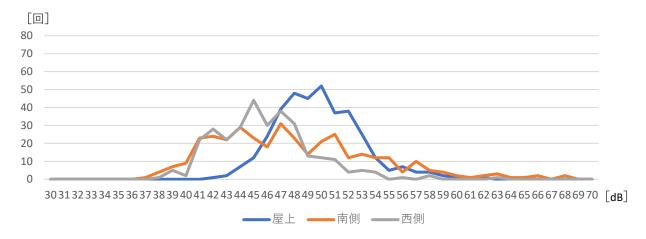


図 3-63音レベルの発現回数の推移(11月社会実験)

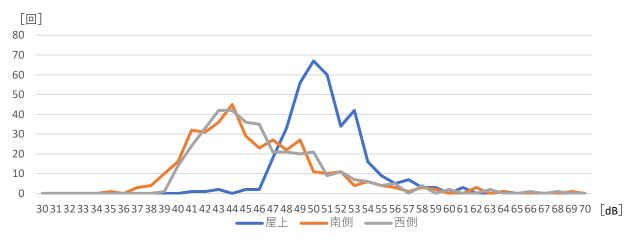


図 3-64 音レベルの発現回数の推移(2月社会実験)

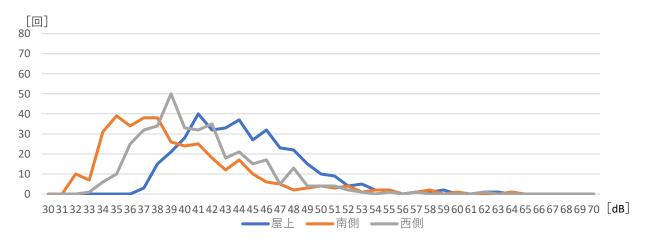


図 3-65 音レベルの発現回数の推移(平常時)

(4) アンケート調査 (近隣住民対象)

① 調査実施計画

本調査は、社会実験時において、近隣住民に関してアンケート調査を実施し、旧赤星邸利活用に向けた意向や懸念点等を把握することで、本格運用による課題・方策の検討に活用する。

調査の実施にあたっては、社会実験後にアンケート用紙を配布し、各戸配布、郵送回収により調査 を実施した。

耒	3	-22	調査	宝	旃凞	亜
1X	J		ᅃᄆ	-	ענוניווו	. ~

調査時期	11月社会実験について:2023年11月8日(水)~11月21日(火)			
	2月社会実験について :2024年2月7日 (水) ~2月21日 (水)			
調査手法	アンケートによる調査、ポスティング配布・郵送回収			
有効回答数	配布数:129 世帯			
	有効回答数:33件(11月社会実験)、23件(2月社会実験)			
アクティビティ	・社会実験について(各企画の利用、気になること等)			
調査項目	・今後の利用について			
	・回答者属性			

② 調査結果のまとめ

A) 社会実験時の来場等の有無

【社会実験には、参加されましたか?】に対して以下の回答が得られた。

各回の社会実験において、近隣の住民は来場若しくは自宅にいたと回答した人が約 70%と、社会実験の様子がわかるところにいたことを確認した。

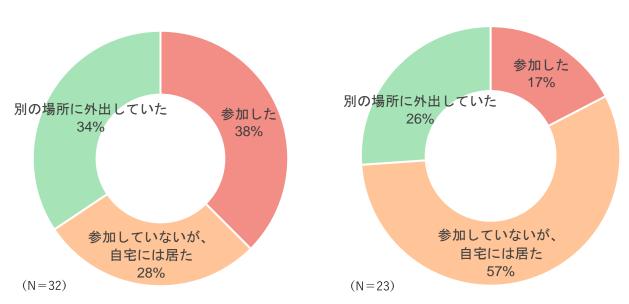


図 3-66 社会実験時の来場等の有無(左:11月、右:2月)

B) 社会実験の満足度

【当日参加して、全体的にどのくらい満足していますか? (参加した人のみ)】に対して以下の回答が得られた。

11 月社会実験全体の満足度については、回答者の 91%が「満足」または「やや満足」と回答し、「やや不満」「不満」の回答はなかった。さらに、2 月社会実験全体の満足度については、回答者の 75%が「やや満足」と回答し、「満足」「やや不満」「不満」の回答はなかった。

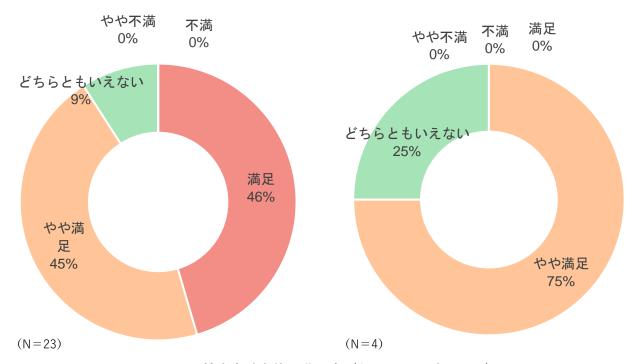


図 3-67 社会実験全体の満足度(左:11月、右:2月)

C) 空間的な印象

【社会実験中の庭園について空間的な印象を評価してください。(参加した人のみ)】に対して以下の回答が得られた。

社会実験時の庭園の空間的な評価について、11 項目を 5 段階で評価した。各回共通して、「魅力」「居心地が良さ」「利用意向」「親近感」について、4.25 以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点としては、「にぎやかさ」があり、平常時の静かな印象を残したまま魅力、居心地のよさ等を感じる空間であった。

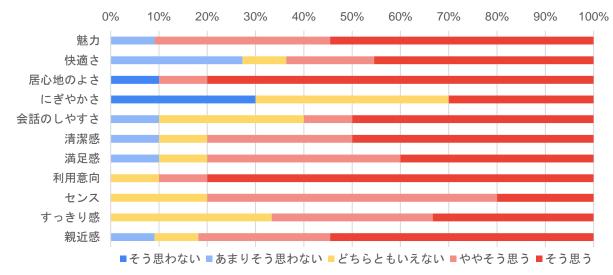


図 3-68 社会実験時の空間的印象(11月)

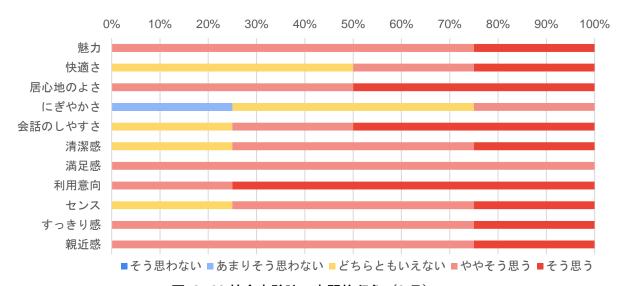


図 3-69 社会実験時の空間的印象(2月)

2月社会実験を11月社会実験の空間的評価と比較すると、全体的に評価点の大きな増減は見られなかった。

表 3-23 各回の点数化による比較

指標	評価点		増減
	11月(第1回)	2月(第2回)	
魅力	4.36	4.25	-0.09
快適さ	3.82	3.75	-0.07
居心地が良さ	4.50	4.50	± 0.00
にぎやかさ	3.00	3.00	± 0.00
会話しやすさ	4.00	4.25	+ 0.25
清潔感	4.20	4.00	-0.20
満足感	4.10	4.00	-0.10
利用意向	4.70	4.75	+ 0.05
センス	4.00	4.00	± 0.00
すっきり感	4.00	4.25	+ 0.25
親近感	4.27	4.25	-0.02

※評価点:5段階評価を得点化(段階ごとで1点~5点に配点)し、有効回答数で除した値

D) 利活用に向けた期待

【旧赤星邸の利活用に向けて期待が高まりますか?】に対して以下の回答が得られた。

利活用に向けた期待について、11月社会実験時で77%、2月社会実験時で81%と、近隣住民とって旧赤星邸利活用を期待している人は多い。

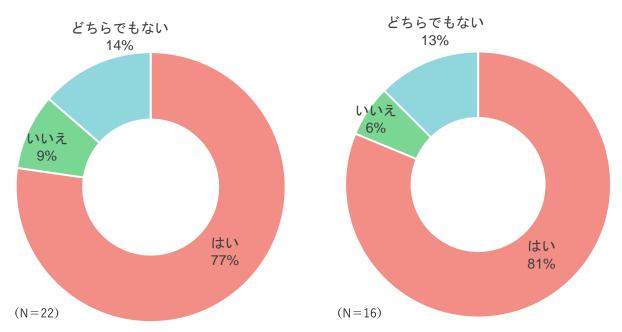


図 3-70 利活用に向けた期待(左:11月、右:2月)

E) 活動音に関する近隣への影響

【社会実験の活動の音は気になりましたか?】に対して以下の回答が得られた。

活動音について、11 月社会実験時で77%、2 月社会実験時で82%と、社会実験時の活動音が気にならない人が大半であった。一方で、気になると回答した人も一定数いた。

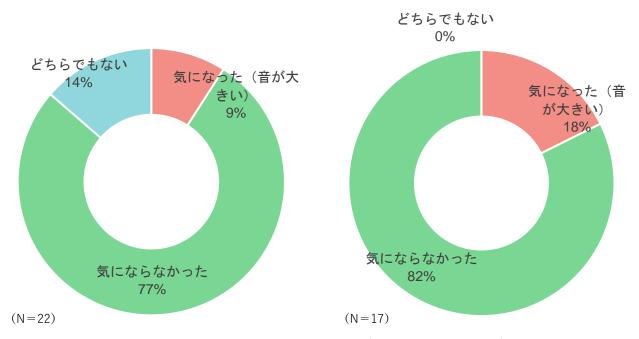


図 3-71活動音に関する近隣への影響(左:11月、右:2月)

F) 人の多さに関する近隣への影響

【イベントの人の多さは気になりましたか?】に対して以下の回答が得られた。

人の多さについて、11 月社会実験時で63%、2 月社会実験時で71%と、社会実験時の人の多さが気にならない人が大半であった。一方で、気になると回答した人も一定数いた。

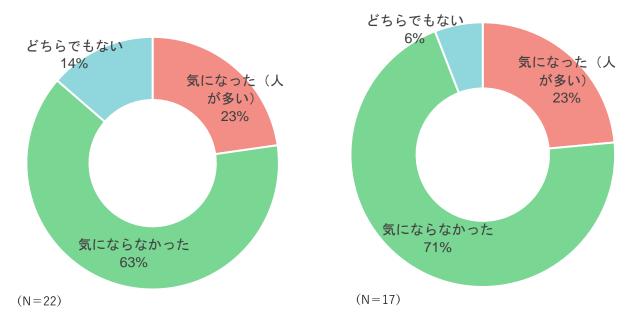


図 3-72人の多さに関する近隣への影響(左:11月、右:2月)

G) 交通量に関する近隣への影響

【交通量の増加を感じましたか?】に対して以下の回答が得られた。

交通量の増加について、11月社会実験時で73%、2月社会実験時で76%と、社会実験時の交通量の増加が気にならない人が大半であった。一方で、気になると回答した人も一定数いた。

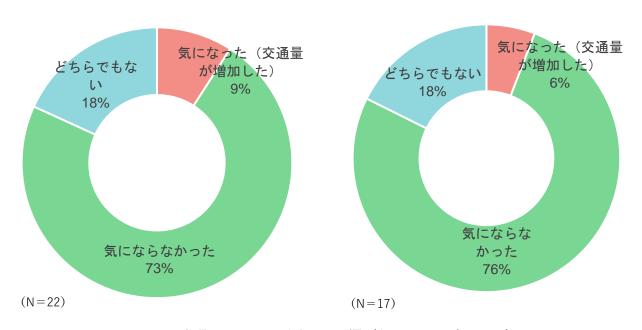


図 3-73 交通量に関する近隣への影響(左:11月、右:2月)

H) 旧赤星邸の今後の利用

【旧赤星鉄馬邸でどのようなことができるとよいと思いますか?】に対して以下の回答が得られた。 11月社会実験においては、将来的に望まれる活動・活用について、「休憩・会話」が22件、「読書」が17件、「アート」が17件と多く、比較的静かな活動・活用が望まれている傾向にある。

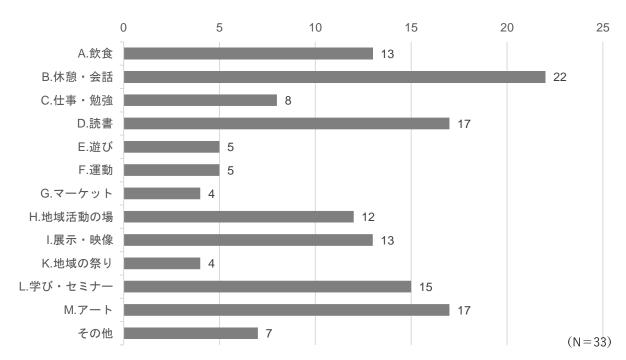


図 3-74 旧赤星邸の今後の利用意向(11月社会実験時)

I) 今後の活動における留意事項(近隣住民の要望(心配な点)や留意事項)

近隣住民対象アンケートによると、旧赤星邸の活用を進める中で心配される事項は、「治安の悪化(防犯)」「交通量の増加(交通事故等)」に関する意見が6件と最も多く、他に「騒音」が5件で次いで多かった。

また、今後の対策として講じてほしい事項としては、「入場制限(コントロール)」に関する意見が 6件と最も多かった。

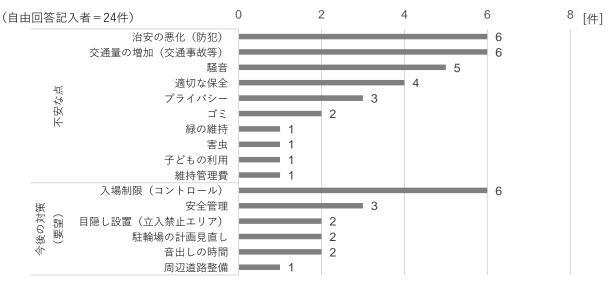


図 3-75 活用を進める上で近隣住民の要望や留意事項(11 月社会実験時)

表 3-24 近隣住民の要望(心配な点)や留意事項の具体的内容

近隣住民の要望(心配な点)や留意事項の具体的内容

- ・近くの信号のタイミングによって交通量が多くなるため、人が多く集まる事がある際には、事故や道のつまりが心配である。成蹊大学もあるため、日頃から人が多い。
- ※神戸市の異人館にはスタバもあり、そのような場所になったら素敵だと思う。
- ・先日は子供たちの笑顔あふれる楽しい時間をありがとうございました。
- ・旧赤星邸 (特に庭) では、老若男女が各々の居場所となり、お互いを尊重し合って楽しめる空間になることを期待する。そのためには、創意工夫が必要である。笑顔であふれる空間にしたい。
- ・夜上映の映画の音は家まで聞こえなかった。静かな映画であれば、今後の上映は可能と思った。
- ・自由にすると長年の修道院だった静かで清らかな環境が失われてしまうと思うため、その伝統や雰囲気を残してほ しい。
- ・来場者が増えすぎると地元の人達がゆっくり過ごしづらくなるため、周辺に住む人をターゲットにした企画、コア なファンを引き付けるような企画にする等、うまくコントロールしてほしい。
- ・南側に隣接して住んでいるため、子どもの遊び場等は望まない。ご配慮をお願い致したい。
- ・以前より同邸前の道路と五日市街道との交差点の辻切りがされてなく、見通しが悪く危険である。成蹊の学童が通 学されているのにコンクリート塀は地震の時も危険があり、旧赤星鉄馬邸の活用に伴い、交通量の増加を考えると 道路状況の改善は必要条件である。
- ・騒音、ごみ放置、治安等の悪化。
- ・経済的な観点から継続して赤字にならずに(市の財政を圧迫することなく)活用できるかが気になる。少子高齢化であるため、今までの二番煎じのような施設ではどこかで行き詰るのではないかと思う。
- ・保存や活用については多々難しいことがあると思うが、ゆくゆくは最低限の規則で皆が気持ちよく自由に活用できるよう願っている。※スタッフの方々からの挨拶があり嬉しかった。
- ・近所に住んでいる人の事を考え多人数の入場をさせない。家の近くまで入り込ませないで、その時だけの柵をもうけてほしい。交通量も考えてほしい。こちらを見ている人には感じないかもしれないが、家をじろじろみられるのを本当に不愉快である。そんな人と目があうのがとてもいやでたまらない。1日中不愉快な思いで過ごした。
- ・あまりに人気になって、人・車が集まりすぎないか。
- ・裏のライオンズマンションの人にとっては、生活の場なので、今回駐輪所となった場所近辺では静かにすごしてほ しい。可能ならもう少し奥、今回開けた庭の中央を駐輪場にしてもらえるとありがたい。
- ・蚊の対策も気になる。赤星邸玄関入って、右に小さな日本庭園が以前あり、水が溜まって気になった。その中の水が抜かれていると良いのですが、蚊やボウフラが増えることが心配する。
- ・玄関が赤星邸の庭から直に見えるため、人通りが増えると防犯面で少し心配である。邸宅に入れる時間を制限するなど、何らかの安全管理はしてほしいと感じる。
- ・周辺の混雑やゴミ、庭園に対しての人数は制限していくこと等。
- ・芝生の維持。
- ・建物を丁寧に利用しない人への注意ができるか心配である。子ども・大人も乱暴に使用する人。大声でしゃべったりする声(大学生が叫びながら歩いていると、とても気になるため、大声を出す活用はやめてほしい)。
- ・住んでいる人がおらず、不特定多数の人が訪問されるようになると、防犯上、問題が心配される。(そもそも、大きな木が多すぎることで、目がつきにくい。)
- ・駐輪場の場所…利用者を市民の場合として考えると自転車での参加が多いと思う。
- ・音…音楽会、個人の楽器。時間(朝・深夜)。
- ・入口に面する道路が狭いので車や自転車との接触事故が起きないか心配である。
- ・大学生のたまり場のようになってしまうと色々問題が出てくる。
- ・不法侵入が出来ないような対策をしてほしい。
- ・騒音トラブルを防ぐ為、深夜・早朝の利用を制限してほしい。また、騒音レベルの基準を明確にしてほしい。
- ・ゆったり出来る場である事は良いですが、多くの人々が集まってきますと騒音治安が悪くなると思う。裏側の玄関口は市役所の方々だけの使用として、集まる人々は表の庭園の方から出入りするという形を取って頂くと良いと思う。建物は見学する事は良いと思うが、使用は今現在反対である。武蔵野市の管理となり本当に良かったと思う。
- ・家の隣なので、カーテンを今まで通りにあけられなくなったりするか少し心配である。
- ・緑が保存されると良いと思う。
- ・庭から周囲の家の近くに来るのを自制できるようポールや柵を常置してほしい。うるさかった。
- ・庭に面した自宅に住んでいるため、今回のイベントの様にポールなどを設置して立ち入りを制限してもらえるとプライバシーが保てるので安心できる。
- ・建物が老朽化していくことで、修繕費などの経費がかかること。市の負担(費用の)があるのでその資金をどうするかという心配である。
- ・これからもずっと誰もが憩える庭、建物でありつづけられるかが心配である。
- ・住宅地にあるので、祭りやイベントで盛り上がると騒音が気になる。
- ・門に面している道路が一方通行でスピードを出している車もいるので安全面が心配である。
- ・建物が住宅の近くにあり火事の心配もあるため、夜間は閉鎖してほしい。



4 社会実験実施結果報告の作成

速報版 4.1

(1) 11月社会実験速報版

Everyone welcome!! Let's visit the garden of Tetsuma Akaboshi.

旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験

【11月速報版】

社会実験開催概要

●開催までの経緯

当社会実験の実施にあたっては、2023年7月に公募により武蔵野市在住在勤の企画・運営スタッフ 25名を選出 した。8月~10月に亘り、計3回の企画会議を実施した。企画会議では、7月までに実施した市民ワークショップ の結果を基に、5 つの企画を立案した。当企画は、企画・運営スタッフにより、ブラッシュアップし、社会実験で の実現性について検討した。

▼社会実験開催に至る経緯

公募

今年度実施する社会 実験のプログラムの 企画・準備・当日の 運営を行うプロジェ クトスタッフを募

第1回



現地を確認し、市民ワー クショップの意見を踏ま えて、意見だし。社会実 験の企画内容を検討。

第2回



市民ワークショップ、企 画会議で意見が多かった 企画について実施にむけ た検討を開始。



5 つの企画に分かれ、準 備物の確認等の最終確認 を実施。また、社会実験 当日の運営計画も共有。

●社会実験の概要

当社会実験は、旧赤星鉄馬邸と庭園を一体的に活用していく ことを目指したものである。まず第一弾としては、「庭園の活 用可能性」に視点を置き、庭園のみを実験の会場とした。

社会実験は、秋晴れのなか開催され、老若男女さまざまな方 が来場し、旧赤星鉄馬邸の庭園を堪能していた。

▼社会実験開催概要

11月5日(日)10時~19時 日時 ※10 時~16 時は入退場自由。17 時以降はシアター上映のた め、入場制限を設けた。 ①カフェ「自家焙煎コーヒー屋 DREAMERS COFFEE」 ②スイーツ「ラトリエドゥタカコの焼き菓子」 ③雑貨販売「アトリエショップ P&M」 ④テーブル茶道ワークショップ ⑤旧赤星鉄馬邸七不思議展示 企画 ⑥歴史勉強ツアー ⑦Harvest Wreath のこどもワークショップ ⑧親子ヨガ ⑨屋外ナイトシアター「人生フルーツ」 ⑩来場者対象ワークショップ (庭の活用方法について) ・アンケート調査(①来場者対象、②近隣住民対象) ・滞留調査 調査 • 音環境調查









社会実験結果報告(11月時点速報)

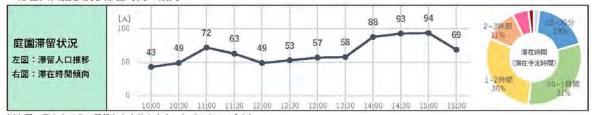
●社会実験時のプログラム

	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00		17:00	17:30		19:00
① カフェ												-	_					
② スイーツ				-			-						_					
③ 雑貨販売													-		•			_
④ 茶道 WS					•		•											
⑤ 歴史ツアー					-	1					-		-	П				
⑥ 旧赤星邸展示	•						-						-					
⑦ リース WS		•	-	•	-				-	•	-			П				
⑧ 親子ヨガ												-						
⑨ 屋外シアター																	+	_
10 来場者 WS	•												-					

●庭園内の滞留状況

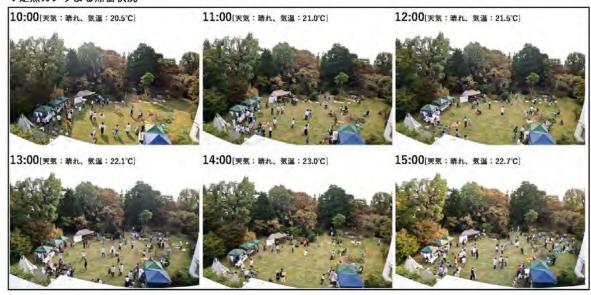
社会実験時の庭園内の滞留人口は、 $40\sim100$ 人の間で推移し、企画が重なる 11 時台、14 時以降に多くの人が来場した。また、来場者対象アンケート調査によると、滞在時間は「 $30\sim1$ 時間」が31%、「 $1\sim2$ 時間」が30%と多く、一定時間の滞在が確認できた。

▼滞留人口推移及び滞在時間の傾向



※左図:定点カメラに記録した人数をカウント (スタッフ含む) ※右図:来場者対象アンケート調査による聞き取り (有効回答者数=54件)

▼定点カメラよる滞留状況



▼各企画の実施状況と参加者数等の結果



来場者対象アンケート回答者が	利用し	た(ま	たは利用	月予定)	コンテ	ンツ			各コンテンツの結果報告
(有効回答者数=53件)	0	5	10	15	20		25	30	
カフェ							2	8	◀販売数:珈琲 120 杯、パック等販売 27 点
スイーツ				_		20			■準備した焼菓子完売
雑貨販売(Tシャツ)			9						▼販売数:Tシャツ 42 枚、雑貨等販売 20 点
テーブル茶道ワークショップ			6						◀参加者数:34名(1回800円)
Harvest Wreath のこどもワークショップ				1					◀参加者数:22名(保護者除く)
親子ヨガ		3							◀参加者数: 29 名
歴史勉強ツアー				1					◀参加者数:26名
旧赤星鉄馬邸七不思議展示					16				-
屋外ナイトシアター		2							◀参加者数: 96 名
ワークショップボード		2							◀意見数(付箋の数): 104 件

●社会実験来場者による評価

(社会実験全体満足度)

一方で、回答者の 9%が「どちらともいえない」、2%「不満」と回答した その理由としては、建物内部の見学がなかったことやパリアフリーの入りに くさが指摘された。

不満 255ともいえない 9% 4社会実験全体 7年高足 29% N = 55

▲社会実験の満足度評価

▼満足度評価の理由(来場者アンケート調査より解析)

「評価できる理由」

- ●空間・心地よさ15件(くつろげる、居心地がいい、雰囲気が良い、庭が広くて気持ち良い、芝生が気持ちいい等)
- ●赤星郎自体7件(前々から入ってみたかったから、目に触れられない文化財を見ることができた、地域の風土や伝統を感じた等)
- ●楽しさ8件(遊んだ、子どもと一緒に楽しく過ごすことができた、沢山の来場者、テントの内容、素晴らしいです等)
- ●学び3件(知らなかった事を学べて楽しかったです、普段公開されていない場所を解説付きで見られたのがよかった等)
- ●飲食2件(広いお庭でのカフェ気持ちいい、食と座る空間が充実していたから)
- ●社会実験自体3件(歴史ある建物の話を地域の皆さんの手で活用しようとしているので、普段このようなイベントはないから等)

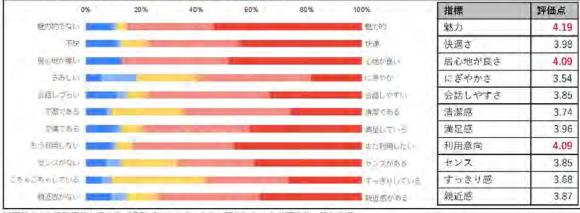
「課題となる理由」

- ●赤星郎自体 4 件(建物の中が見れなかった、内部をみたかった、中が見られない、剪定をした方がいい 等)
- ●楽しさ2件(遊びがもう少し欲しい、音響的にやや難あり?)
- ●福祉面1件(パリアフリーがまったくダメ)
- ●社会実験自体1件(予約制のイベントばかり)

(庭園の空間的な評価)

社会実験時の庭園の空間的な評価について、11 項目を 5 段階で評価した。「魅力」「居心地が良さ」「利用意向」について、4.0 以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点としては、「にぎやかさ」が 3.54 であった。

▼空間的評価(来場者対象アンケート調査による5段階評価)



※評価点:5段階評価を得点化(段階ごとで1点~5点に配点)し、有効回答数で除した値

(以前から旧赤星鉄馬邸を知る人が思う普段の印象)

普段の印象としては、歴史・文化的な財産としての印象がある一方で、閉鎖的な印象を持つ人も一定数確認した。 ▼普段の印象(来場者アンケート調査より解析)

- ●歴史・文化 8 件 (歴史的な建物と庭、地域の文化財、残ってよかった、モダン 等)
- ●閉鎖的8件(塀が高く近寄りづらい感じがしていた、暗いイメージ、入れない、謎、暗く閉鎖的等)
- ●その他8件(思ったより緑がある、静かな感じ、地味な感じ、有名な建築や赤星邸とは知らなかった等)

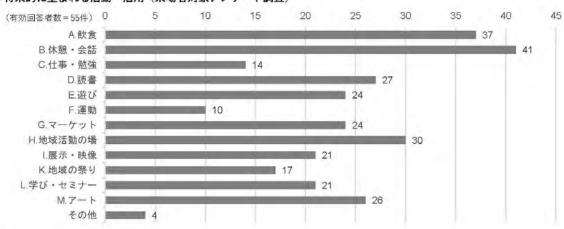


●来場者の活用意向

(旧赤星鉄馬邸の将来的に望まれる活動・活用)

将来的に望まれる活動・活用については、「休憩・会話」が 41 件、「飲食」が 37 件と多く、日常的に利用できる活動・活用が望まれている。次いで、「地域活動の場」が 30 件と多く、地域に根差した活用も望まれている。

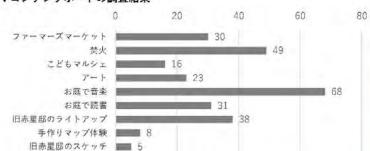
▼将来的に望まれる活動・活用(来場者対象アンケート調査)



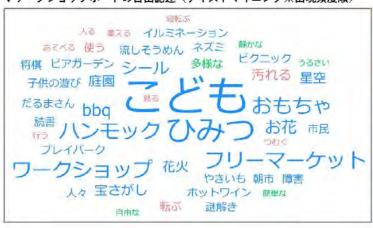
(庭園での利用意向)

会場内で「この庭、どう使いたい?」をテーマにワークショップを実施した。市民ワークショップで出された意見で今回の社会実験の企画として実施しなかった企画を掲載したコンテンツボードを作成した。コンテンツボードでは、「お庭で音楽」が 68 件と最も多く、次いで「焚火」が多い結果となった。また、その他自由に記述できるワークショップボードでは、子どもに関する活動・遊戯・運動に着目した企画に関する声が多かった。

▼コンテンツボードの調査結果



▼ワークショップボードの自由記述(テキストマイニング※出現頻度順)









5

●周辺環境への影響

(音環境調査)

社会実験時の音環境を確認し、近隣への影響度合いを把握した。計測 地点は、①旧赤星邸屋上、②南側隣地付近、③西側隣地付近の 3 地点で 計測した。

環境基準法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調 査における音レベルの平均値は、住居地域※の昼間の基準値(55dB以下) を下回る若しくはそれ相当の数値となった。

一方で、一時的に鳥の鳴き声や調査機付近での会話等で一時的に高数 値になることはあるが、経常的なものではなかった。

▼音環境調査結果概要

	1	日赤星邸!	量上	(2)南	有側隣地	付近	③西側隣地付近					
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN			
10:00	50.35	62.90	44.70	46.04	60.20	37.60	-0	0	- 3			
11:00	49.65	59.10	43.10	46.14	58.80	39.10	45.04	51.10	38.50			
12:00	48.46	56.10	42.80	55.88	76.70	44.80	46.92	54.70	40.20			
13:00	50.35	56.60	45.60	50.02	62.90	43.10	45.92	63.30	39.60			
14:00	50.69	59.90	44.40	45.78	66.60	38.50	47.31	58.20	41.20			
15:00	51.92	60.10	46.10	47.86	76.30	39.20	45.92	58.20	39.30			

※単位は、音レベル (dB)

※環境基準法に規定する環境基準における地域の類型 A 及び B を「住居地域」と定義した。

(近隣住民による印象調査)※近隣住民対象アンケート調査実施途中報告

社会実験当日に、会場や自宅にいた方を対象に社会実験の印象調査※を 実施した。社会実験の実施を受けて利活用に向けた期待の高まるかについ ては、73%の人が「はい」と回答した。

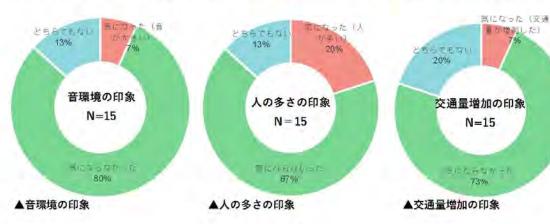
また、近隣住宅・住民への影響として、「音環境」「人の多さ」「交通量 の増加」の印象を調査した。いずれも「気にならなかった」が最も多く、 「音環境」が80%、「人の多さ」が67%、「交通量の増加」が73%であっ た。一方で、「気になった」との回答もあるため、今後の社会実験や利活 用においては十分な配慮が必要である。

※近隣住民 129 世帯を対象に社会実験の実施を受けて活動自体や当日の印象、今後の 意向や懸念点についてアンケート調査を実施した。(回収数 <mark>23 通(回収率 17.8%)</mark>) ▲利活用に向けた期待の高まり









6



●今後の活動における留意事項(近隣住民の要望(心配な点)や留意事項)

近隣住民対象アンケートによると、旧赤星鉄馬邸の活用を 進める中で心配される事項は、「治安の悪化(防犯)」に関す る意見が6件と最も多く、他に「交通量の増加(交通事故等)」 「騒音」が4件で次いで多かった。

また、今後の対策として講じてほしい事項としては、「入場制限(コントロール)」に関する意見が4件と最も多かった。

▼活用を進める上で不安点(近隣住民対象アンケートから解析)



▼具体的な意見 (抜粋)

A氏(印象調査で音、人の多さ、交通量で気になったと回答)

近所に住んでいる人の事を考え多人数の入場をさせない。近くまで家のまわりに入り込ませないでその時だけの柵をもうけてほしい。交通量も考えてほしい。こちらを見ている人には感じないかもしれないが、家をじろじろみられるのを本当に不愉快である。そんな人と目があうのがとてもいやでたまらない。1日中不愉快な思いで過ごした。

B氏(印象調査で人の多さで気になったと回答)

玄関が赤星邸の庭から直に見えるため、人通りが増えると防 犯面で少し心配です。邸宅に入れる時間を制限するなど、何 らかの安全管理はしていただきたいなと感じます。

CK

来場者が増えすぎると地元の人たちがゆっくり過ごしつらく なるので、周辺に住む人をターケットにした企画、コアなファンを引き付けるような企画にする等をしてうまくコントロールしていただきたい。

D氏(印象調査で人の多さで気になったと回答)

住んでいる人がいないうえ、不特定多数の人が訪問されるようになると、防犯上、問題が心配される。(そもそも、大きな木が多すぎることで、目がつきにくい。)

EÆ

建物を丁寧に利用しない人への注意ができるか心配。子ども・大人も乱暴に使用する人。大声でしゃべったりする声 (大学生が叫びながら歩いていると、とても気になっているので、大声を出す活用はやめてほしい。)

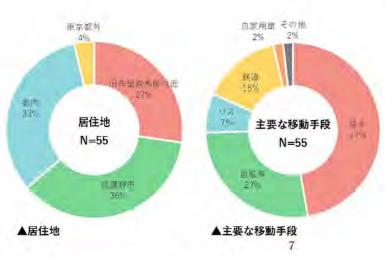
●その他来場者の属性

今回、来場した方の72%は、旧赤星鉄馬邸に来たことがない人であった。 来場者の居住地は、武蔵野市内が63%(近隣27%、近隣外の市内36%) であった。都内(市外)からの来場者も33%あった。

来場者の移動手段は、「徒歩」が 47%、「自転車」が 27%と、近い距離 からの来訪者が多かった。なお、当社会実験では、予備駐輪場として第一 小学校を確保していたが、ほぼ使用されなかった。

来場グループは、「家族 (子ども含む)」が 38%と最も多く、次いで「一人で」が 29%と多かった。







ソトノバ 🔈

2月社会実験速報版 **(2)**

Everyone is welcome!! Let's visit the garden of Tetsuma Akabosh 🥒

旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験#2~

【2月速報版】

社会実験開催概要

開催までの経緯

当社会実験の実施にあたっては、2023年7月に公募により武蔵野市在住在動の企画・運営スタッフ25名を選出 した。8月~10月に亘り、計3回の企画会議を実施し、11月に第1回目の社会実験を実施した。

11 月社会実験の結果を受け、計2回の企画会議を実施した。企画会議では、7 月までに実施した市民ワークショ ップの結果や社会実験での来場者意見を基に、4 つの企画を立案した。当企画は、企画・運営スタッフにより、ブ ラッシュアップし、社会実験での実現性について検討した。

▼社会実験開催に至る経緯

11月社会実験





11 月社会実験では、秋晴れのなか、老若男女さまざ まな方が来場した。当日は、アンケートやワークシ ョップボードにより意見収集した。

第4回



社会実験の結果を踏ま え、2月社会実験の企画 について実施にむけた検 討を開始。

第5回



つの企画に分かれ、 備物の確認等の最終確認 を実施。また、社会実験 当日の運営計画も共有。

社会実験の概要

当社会実験は、旧赤星鉄馬邸と庭園を一体的に活用していくことを目指したものである。今回、第二弾としては、 「庭園と建物の一体的な活用可能性」に視点を置き、建物・庭園を会場とした。

社会実験は、朝方に雨が降り開催が危ぶまれたが、開催時間内は雨がやみ開催された。2月の寒い時期ではあっ たが、庭園内、建物内ともに老若男女さまざまな方が来場した。

▼社会実験開催概要

日時 2024年2月4日(日)10時~16時 ※入退場自由。

- ① [キッチンカー] 道草ヒュッテ
- ② [飲食テント] ケーニッヒ
- ③ [飲食テント] シフク食堂
- ④ [語り] 渡辺哲 (俳優) の朗読、語り
- ⑤ [音楽] 武蔵野市民交響楽団金管八重奏
- ⑥ [音楽] 歌曲:浜坂京子、ピアノ:大塚純子
- ⑦ [音楽] 歌:ゆいこ、チェロ:オクムラ
- 企画 ⑧ [学びツアー] 旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー「建築たんてい団」
 - ⑨ [学びテーブルトーク] 暮らしのテーブル茶道ワークショップ
 - ⑩ [学びテーブルトーク] みどりを介したコミュニティデザイン
 - ① [学びテーブルトーク] 流浪の建築家 A.レーモンドの魅力その豊 穣なる人生
 - ⑩ [学び企画展] 旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築
 - ③ [スポーツ] グランドゴルフ
 - ③ 「子ども企画」オリジナルカルタとお庭で宝探し

調査

- ・アンケート調査(①来場者対象、②近隣住民対象) ・滞留調査
- · 音環境調查







社会実験結果報告(2月集計時点速報)

社会実験時のプログラム

	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
① [キッチンカー] 道草ヒュッテ													_
② [飲食テント]ケーニッヒ		_											
③ [飲食テント] シフク食堂			_										
④ [語り] 渡辺哲 (俳優) の朗読、語り			-		-								
⑤ [音楽] 武蔵野市民交響楽団金管八重奏						<u> </u>	-			П			
⑥ [音楽] 歌曲:浜坂京子、ピアノ;大塚純子									•				
⑦ [音楽] 歌:ゆいこ、チェロ:オクムラ										_	-		
8 [学びツアー] 旧赤星鉄馬邸七不思議ツアー 「建築たんてい団」					•			. 1	-0				-
9 [学びテーブルトーク] 暮らしのテーブル茶道ワークショップ								-					
(学びテープルトーク)みどりを介したコミュニティデザイン							•		_				
D [学びテーブルトーク] 流浪の建築家 A.レーモンドの魅力その豊穣なる人生													
② [学び企画展] 旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築	•												
③ [スポーツ]グランドゴルフ					-				-	•		-	
(3) 「子ども企画」オリジナルカルタとお庭で宝探し			_	î i						-0	-		

建物・庭園内の滞留状況の推移

社会実験時の建物・庭園内の全体滞 留人口は、40~190 人の間で推移し、 平均130人程度の滞留があった。

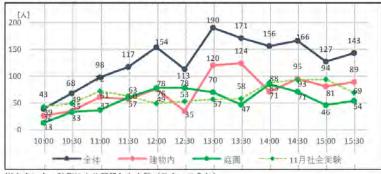
庭園内の滞留人口を 11 月社会実験 と比較すると、12~13 時の間で上回 る滞留が見られた。

各エリア・諸室別にみると、庭(芝 部分) の 12 時台、14 時台で滞留が多 く見られた。また、居間、礼拝棟聖 堂、日本間で企画がある時間帯には、 企画を楽しむ人の滞留が見られた。

▼カウント対象の各エリア・諸室

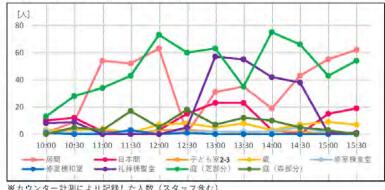


▼滞留人口推移傾向(11月社会実験との比較)



※カウンター計測により記録した人数 (スタッフ含む)

▼各エリア・諸室の滞留人口推移傾向



※カウンター計測により記録した人数 (スタッフ含む)

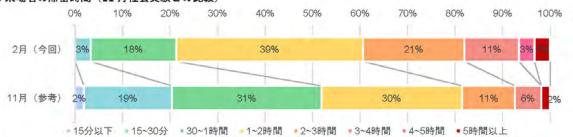
2



●滞留時間の状況

社会実験当日の滞留時間は、「1~2時間」が39%と最も多く、次いで「2~3時間」が21%と多かった。11月社会実験と比較すると30分~1時間程度の滞在時間の増加が見られ、建物内外の多種類のコンテンツ企画の実施により、滞在時間増加に寄与したと推察される。

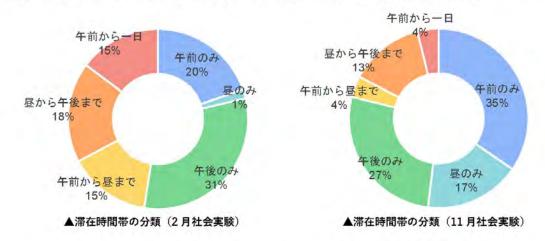
▼来場者の滞留時間(11月社会実験との比較)



▼定点カメラよる庭園の滞留状況



また、滞在時間帯を分類別に確認すると、2月社会実験は、昼を跨いだ滞在が48%と2月社会実験(21%)と比べて増加した。食事コンテンツが3店舗出店したことにより昼間滞在者が増えたと推察される。



▼各企画の実施状況と参加者数等の結果



来場者対象アンケート回答者が利用した(ま	たは利	川用子	定)	コン	テン	ツ	各コンテンツの結果報告
(有効回答者数=56件、複数回答有)	0	10		20	- ;	30	
[キッチンカー] 道草ヒュッテ					24	1	◀販売数: ガレット 77 点、焼菓子 14 点
[飲食テント] ケーニッヒ						28	◀販売数:ホットドッグ 35 点、アルコール飲料 55 点
[飲食テント]シフク食堂						29	◀販売数:スープ87点、パスタ52点、チャイ74点
[語り] 演辺哲 (俳優) の朗読、語り		5					◀参加者数:54名
[音楽] 武蔵野市民交響楽団金管八重奏	-			18			◀参加者数:63名
[音楽] 歌曲:浜坂京子 ピアノ:大塚純子		5				T	◀参加者数:57名
[音楽] 歌:ゆいこ、チェロ:オクムラ		6					◀参加者数:42名
[学びツアー] 旧赤星鉄馬郎七不思議ツアー「建築たんてい団」	1	8				Ĭ	◀参加者数:55名
[学びテーブルトーク] 暮らしのテーブル茶道ワークショップ	11 1					1	◀参加者数:12名
[学びテーブルトーク] みどりを介したコミュニティデザイン		4				T	◀参加者数:35 名
[学びテーブルトーク] 流浪の建築家A.レーモンドの魅力その豊穣なる人生		5					◀参加者数:62名
[学び企画展] 旧赤星鉄馬邸と同時代の名建築			12			i i	-
[スポーツ] グランドゴルフ		9)				◀参加者数:36名
[子ども企画] オリジナルカルタとお庭で宝探し	4		10			T	◀参加者数:36名

▼各企画の実施状況と参加者数等の結果

旧赤星邸居間







渡辺哲氏の朗読、語り

武蔵野市民交響楽団金管八重奏

清水忠男氏テーブルトーク

旧赤星邸蔵



旧赤星邸日本間





旧赤星邸全体

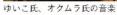


礼拝棟聖堂













社会実験来場者による評価

(社会実験全体満足度)

社会実験全体の満足度については、回答者の93%が「満足」または「やや満足」と回答した。「やや不満」「不満」の回答はなかった。その理由としては、「企画の充実」が最も多く、次いで「赤星邸自体」や「社会実験自体」に関する理由が多くあり、多種多様な企画を付加した利活用の可能性について評価できた。特に、「企画の充実」の中で飲食を評価する理由が22件中12件を占めており、庭園でのゆっくり食事ができることについて評価された。

一方で、回答者の 7%が「どちらともいえない」と回答した。その理由としては、建物内の見学(特に2階)や利活用・保全について指摘された。

とちらとも(1支な) 79% やか当を 29%

※不満、やや不満の回答はなかった ▲社会実験の満足度評価

▼満足度評価の理由(来場者アンケート調査より解析)

[評価できる理由]

- ●企画の充実 21 件(カルタに参加できた、色々なイベントと美味しいフード・音楽・展示等盛り沢山で楽しめました等) (内訳)企画全体:4 件、飲食:12 件、子ども:7 件、音楽:5 件、学び3件 ※複数分野の理由があるため、合計は一致しない
- ●赤星邸自体8件(責重な建物を見られて良い、当時のままで保存したていただいた施設は珍しく文化の街としての誇り等)
- ●社会実験自体 7 件(この場所を活用すること自体が良い、赤星邸活用を近隣でできたのが良かった、全て機能的 等)
- ●居心地のよさ3件(くつろげる場所があり満足・広場での子供ものびのびできる、のんびりした等)
- ●庭園 1件(庭がひろく季節感ある植物)

[課題となる理由]

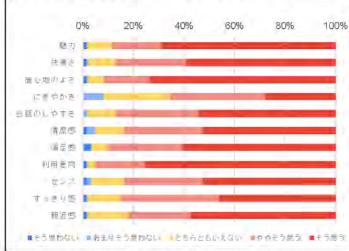
- ●建物内の見学 6件(2階も見られたらよかった、履き物が必要なのが不便か、建築ツアーに行けなかった等)
- ●利活用1件(武蔵野市の歴史的な建築の利活用が不十分)
- ●保全1件(内観が当時のものが残されてなかったから)

(庭園の空間的な評価)

社会実験時の庭園の空間的な評価について、11 項目を 5 段階で評価した。「魅力」「居心地が良さ」「利用意向」 について、4.0 以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点としては、「にぎやかさ」が 3.54 であり、平 常時の静かな印象を残したまま魅力、居心地のよさ等を感じる空間であった。

11 月社会実験の空間的評価と比較すると、全体で評点増加が見られた。特に「すっきり感」「利用意向」「清潔感」が増加していることが確認できた。

▼空間的評価(来場者対象アンケート調査による5段階評価)



指標	評価点		増減
	2月 (今回)	11月 (参考)	
魅力	4.54	4.19	+0.35
快適さ	4.43	3.98	+0.45
居心地が良さ	4.62	4.09	+0.53
にぎやかさ	3.85	3.54	+0.31
会話しやすさ	4.39	3.85	+0.54
清潔感	4.30	3.74	+0.56
満足感	4,44	3,96	+0.48
利用意向	4.67	4.09	+ 0.58
センス	4.31	3.85	+ 0.46
すっきり感	4.28	3.68	+0.60
親近感	4.36	3.87	+ 0.49

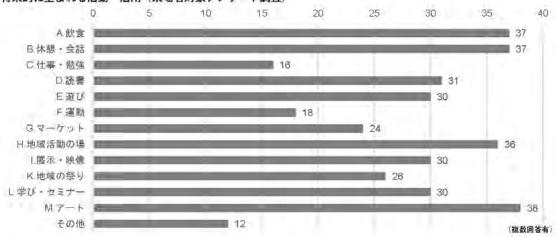
※評価点:5 段階評価を得点化(段階ごとで1点~5点に配点)し、有効回答数で除した値

来場者の活用意向

(旧赤星鉄馬邸の将来的に望まれる活動・活用)

将来的に望まれる活動・活用については、「アート」が38件、「飲食」が37件、「休憩・会話」が37件、「地域活動の場」が36件と多く、文化的な利用や日常的に利用できる活動・活用が望まれている。

▼将来的に望まれる活動・活用(来場者対象アンケート調査)



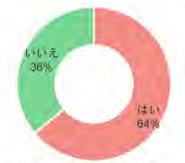
来場者の普段の赤星邸の印象

(旧赤星鉄馬邸の認知状況)

来場者の旧赤星邸の認知状況については、回答者の 64%が「認知している(はい)」と回答した。

(以前から旧赤星鉄馬邸を知る人が思う普段の印象)

普段の印象としては、「貴重な建築物・文化財」としての印象が最も 多く、次いで「修道院」「広く落ち着いた場所」としての印象があった。 一方で、「閉塞的な空間」「わからない空間」等、普段立ち入れない空間であることから、課題となる印象を持たれている人もいた。



▲来場者の旧赤星邸の認知状況

▼普段の印象 (来場者アンケート調査より解析)

[良い印象]

- ●貴重な建築物・文化財 13 件(歴史的建造物、佇まいが美しい、文化財を今後も残していって欲しい等)
- ●修道院5件(修道院のイメージ・男が入れない、シスターがよくすれ違っていた等)
- ●広く落ち着いた場所 7 件 (広い家があるくらい、広い空間・素晴らしい建築をぜひ残してほしい、ゆったり落ち着いている等)

[課題となる印象]

- ●閉塞的な空間6件(閉じられた空間、四季に一回は開放してほしい等)
- ●わからない空間4件(ここはなんだろう、何の建物かわからない、怪しい建物等)



- 周辺環境への影響

(音環境調査)

社会実験時の音環境を確認し、近隣への影響度合いを把握した。計測地点は、①旧赤星邸屋上、②南側隣地付近、 ③西側隣地付近の3地点で計測した。

環境基本法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調査における音レベルの平均値は、住居地域**の昼間の基準値(55dB以下)を下回る若しくはそれ相当の数値となった。一方で、一時的に鳥の鳴き声や調査機付近での会話等で一時的に高数値になることはあるが、継続的なものではなかった。

2 月社会実験時は、平常時と比較すると平均約 5~6.5dB 大きくなっていること ▼調査機設置位置 を確認した。11 月社会実験時と比較すると南側隣地付近で約 2.5dB 小さくなって おり、建物内の企画を増やしたことが起因していると考える。

▼音環境調査結果概要

	(I)	日赤星邸原	量上	(2)	有側隣地位	寸近	37	西側隣地伯	讨近
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN
10:00	49.86	61,20	42.70	45.62	59.50	38.80	44.61	56.10	40.40
11:00	50.83	59.30	41.40	43.34	54.10	35.70	45.60	66.50	39.50
12:00	51.35	57.60	47.40	49.09	62.90	40.30	46.85	63.00	41.30
13:00	52.12	64.50	47.30	46.25	69.60	39.30	47.88	76.60	40.20
14:00	53.14	59.00	48.70	46.69	59.30	40.70	48.47	60.90	41.80
15:00	50.56	61.40	46.50	45.77	58.90	38.40	46.86	68.80	40.30
2月社会実験平均	51.31	60.50	45.67	46.13	60.72	38.87	46.71	65.32	40.58
11月社会実験平均	50.24	59.12	44.45	48.62	66,92	40.38	46.22	57.10	39.76
12 月平常時平均	44.75	56.32	39.05	39.79	57.98	33.00	41.46	53.67	35.18

※単位は、音レベル (dB)

※環境基本法に規定する環境基準における地域の類型 A 及び B を「住居地域」と定義した。

(近隣住民による印象調査)

音環境の印象

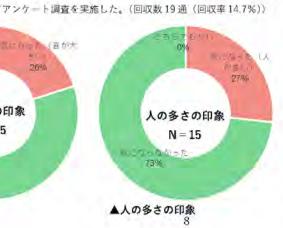
N=15

▲音環境の印象

社会実験当日に、会場や自宅にいた方を対象に社会実験の印象調査**を 実施した。社会実験の実施を受けて利活用に向けた期待の高まるかについ ては、80%の人が「はい」と回答した。

また、近隣住宅・住民への影響として、「音環境」「人の多さ」「交通量の増加」の印象を調査した。いずれも「気にならなかった」が最も多く、「音環境」が80%、「人の多さ」が73%、「交通量の増加」が80%であった。一方で、「気になった」との回答もあるため、今後の社会実験や利活用においては十分な配慮が必要である。

※近隣住民 129 世帯を対象に社会実験の実施を受けて活動自体や当日の印象、今後の 意向や懸念点についてアンケート調査を実施した。(回収数 19 通(回収率 14.7%))





▲利活用に向けた期待の高まり





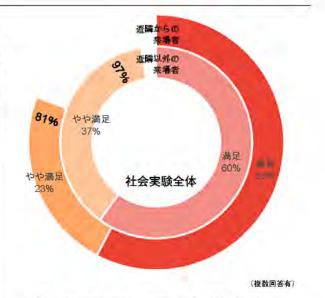
※ 来場者と近隣住民の印象比較

(社会実験全体満足度)

社会実験全体の満足度について、居住属性を分類し解析した。近隣から来場した回答者の81%が「満足」または「やや満足」と回答した。また、近隣以外から来場した回答者の97%が「満足」または「やや満足」と回答した。近隣からの来場者が3割程度を占めていることから、満足度の維持向上が必要である。

近隣からの来場者:来場者アンケートにおいて居住地に関する設問を「旧赤星鉄馬邸付近」と回答(21 件)、近隣住民対象アンケートにおいて社会実験に「参加した」と回答(5 件)の合算値(26 件)とする。

近隣以外の来場者:来場者アンケートにおいて居住地に関する設問を「旧赤星鉄馬邸付近」以外の回答(40件)とする。



▲社会実験の満足度評価(近隣・近隣以外の比較)

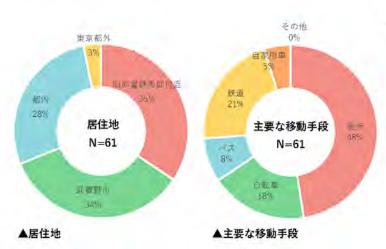
- その他来場者の属性

今回、来場した方の69%は、旧赤星鉄馬邸に来たことがない人であった。 来場者の居住地は、武蔵野市内が67%(近隣35%、近隣外の市内34%) であった。都内(市外)からの来場者も28%あった。

来場者の移動手段は、「徒歩」が 48%と、近い距離からの来訪者が多かった。「自転車」による来場が 18%であり、予備駐輪場として第一小学校を確保していたが、ほぼ使用されなかった。

来場グループは、「家族 (子ども含む)」が 38%と最も多く、次いで「一人で」が 33%と多かった。







9

公表用資料 4.2

Everyone welcome!! Let's visit the garden of Tetsuma Akaboshi.

旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験

社会実験開催概要

●開催までの経緯

当社会実験の実施にあたっては、2023年7月に公募により武蔵野市在住在動の企画・運営スタッフ 25名を選出 した。8月~10月に亘り、計3回の企画会議を実施した。企画会議では、7月までに実施した市民ワークショップ の結果を基に、5 つの企画を立案した。当企画は、企画・運営スタッフにより、ブラッシュアップし、社会実験で の実現性について検討した。

▼社会実験開催に至る経緯

今年度実施する社会 実験のプログラムの 企画・準備・当日の 運営を行うプロジェ クトスタッフを募

第1回



現地を確認し、市民ワー クショップの意見を踏ま えて、意見だし。社会実 験の企画内容を検討。



市民ワークショップ、企 画会議で意見が多かった 企画について実施にむけ た検討を開始。



5 つの企画に分かれ、準 備物の確認等の最終確認 を実施。また、社会実験 当日の運営計画も共有。

●社会実験の概要

当社会実験は、旧赤星鉄馬邸と庭園を一体的に活用していく ことを目指したものである。まず第一弾としては、「庭園の活 用可能性」に視点を置き、庭園のみを実験の会場とした。

社会実験は、秋晴れのなか開催され、老若男女さまざまな方 が来場し、旧赤星鉄馬邸の庭園を堪能していた。

▼社会実験開催概要

Lane.	11月5日(日)10時~19時
日時	※10 時~16 時は入退場自由。17 時以降はシアター上映のため、入場制限を設けた。
	①カフェ「自家焙煎コーヒー屋 DREAMERS COFFEE」
	②スイーツ「ラトリエドゥタカコの焼き菓子」
	③雑貨販売「アトリエショップ P&M」
	④テーブル茶道ワークショップ
A ===	⑤旧赤星鉄馬邸七不思議展示
企画	⑥歴史勉強ツアー
	⑦Harvest Wreath のこどもワークショップ
	⑧親子ヨガ
	⑨屋外ナイトシアター「人生フルーツ」
	⑩来場者対象ワークショップ (庭の活用方法について)
	・アンケート調査(①来場者対象、②近隣住民対象)
調査	・滞留調査
	・音環境調査







社会実験結果報告(12月集計時点速報)

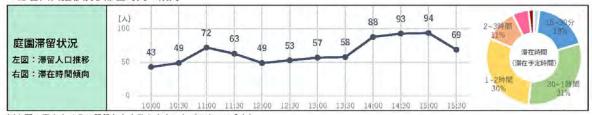
●社会実験時のプログラム

	10:00	10:30	10:30	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	•••	17:00	17:30	19	9:00
① カフェ					-								-					
② スイーツ													-0			ΙΠÍ		
③ 雑貨販売						_											+	_
④ 茶道 WS			•				•			=			•					
⑤ 歴史ツアー					-	r												
⑥ 旧赤星邸展示													-			+		
⑦ リース WS		•	-	•	-			•		•	_							
⑧ 親子ヨガ										9						-		
⑨ 屋外シアター																	+	_
⑩ 来場者 WS					=								_					

●庭園内の滞留状況

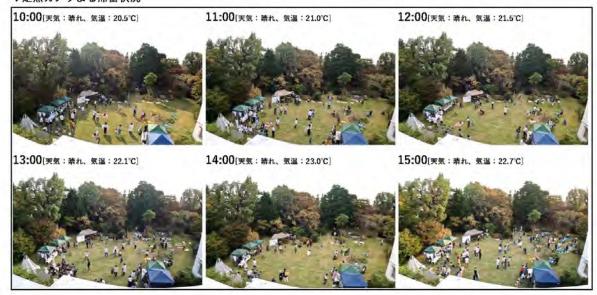
社会実験時の庭園内の滞留人口は、 $40\sim100$ 人の間で推移し、企画が重なる 11 時台、14 時以降に多くの人が来場した。また、来場者対象アンケート調査によると、滞在時間は「 $30\sim1$ 時間」が31%、「 $1\sim2$ 時間」が30%と多く、一定時間の滞在が確認できた。

▼滞留人口推移及び滞在時間の傾向



※左図:定点カメラに記録した人数をカウント (スタッフ含む) ※右図:来場者対象アンケート調査による聞き取り (有効回答者数=54件)

▼定点カメラよる滞留状況



▼各企画の実施状況と参加者数等の結果



来場者対象アンケート回答者が	利用した	(または	利用予定	コンテ	ンツ(複	数回答有)	各コンテンツの結果報告
(有効回答者数 = 53 件)	0	5	10	15	20	25 30	
カフ	т 📰					28	◀販売数:珈琲 120 杯、パック等販売 27 点
スイー	ツ			-	20		■準備した焼菓子完売
雑貨販売(Tシャツ)		9				◀販売数:Tシャツ 42 枚、雑貨等販売 20 点
テーブル茶道ワークショッ	プ		5				◀参加者数:34 名(1回800円)
Harvest Wreath のこどもワークショッ	プ		1	1			◀参加者数:22名(保護者除く)
親子ョ	ガ	3					◀参加者数: 29 名
歴史勉強ツア			1	1			◀参加者数:26 名
旧赤星鉄馬邸七不思議展	示			16			-
屋外ナイトシアタ	-	2					◀参加者数:96 名
ワークショップボー	F	2					◀意見数 (付箋の数):104件

●社会実験来場者による評価

(社会実験全体満足度)

社会実験全体の満足度については、回答者の89%が「満足」または「やや満足」と回答した。その理由としては、「空間・心地のよさ」や「楽しさ」に関する理由が多くあり、庭園での滞留・活動の可能性について評価できたまた、「赤星邸自体」や「学び」に関する理由もあり、滞在しながら歴史等を学ぶことができたことについて評価できた。

一方で、回答者の 9%が「どちらともいえない」、2%「不満」と回答した その理由としては、建物内部の見学がなかったことやパリアフリーの入りに くさが指摘された。

▲社会実験の満足度評価

▼満足度評価の理由(来場者アンケート調査より解析)

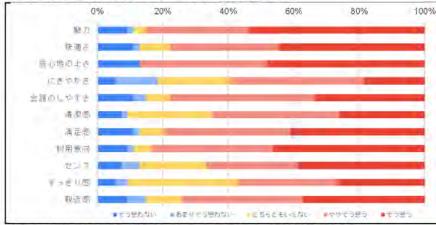
「評価できる理由」

- ●空間・心地よさ 15 件(くつろげる、居心地がいい、雰囲気が良い、庭が広くて気持ち良い、芝生が気持ちいい 等)
- ●赤星邸自体 7 件(前々から入ってみたかったから、目に触れられない文化財を見ることができた、地域の風土や伝統を感じた 等)
- ●楽しさ8件(遊んだ、子どもと一緒に楽しく過ごすことができた、沢山の来場者、テントの内容、素晴らしいです等)
- ●学び3件(知らなかった事を学べて楽しかったです、普段公開されていない場所を解説付きで見られたのがよかった等)
- ●飲食2件(広いお庭でのカフェ気持ちいい、食と座る空間が充実していたから)
- ●社会実験自体 3 件(歴史ある建物の話を地域の皆さんの手で活用しようとしているので、普段このようなイベントはないから 等) [**課題となる理由**]
- ●赤星邸自体4件(建物の中が見れなかった、内部をみたかった、中が見られない、剪定をした方がいい等)
- ●楽しさ2件(遊びがもう少し欲しい、音響的にやや難あり?)
- ●福祉面1件(バリアフリーがまったくダメ)
- ●社会実験自体 1件 (予約制のイベントばかり)

(庭園の空間的な評価)

社会実験時の庭園の空間的な評価について、11 項目を 5 段階で評価した。「魅力」「居心地が良さ」「利用意向」 について、4.0 以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点としては、「にぎやかさ」が 3.54 であり、平 常時の静かな印象を残したまま魅力、居心地のよさ等を感じる空間であった。

▼空間的評価 (来場者対象アンケート調査による5段階評価)



指標	評価点
魅力	4.19
快適さ	3.98
居心地が良さ	4.09
にぎやかさ	3.54
会話しやすさ	3.85
清潔感	3.74
満足感	3.96
利用意向	4.09
センス	3.85
すっきり感	3.68
親近感	3.87

※評価点:5段階評価を得点化(段階ごとで1点~5点に配点)し、有効回答数で除した値

(以前から旧赤星鉄馬邸を知る人が思う普段の印象)

普段の印象としては、歴史・文化的な財産としての印象がある一方で、閉鎖的な印象を持つ人も一定数確認した。

▼普段の印象 (来場者アンケート調査より解析)

- ●歴史・文化8件(歴史的な建物と庭、地域の文化財、残ってよかった、モダン等)
- ●閉鎖的8件(塀が高く近寄りづらい感じがしていた、暗いイメージ、入れない、謎、暗く閉鎖的等)
- ●その他8件(思ったより線がある、静かな感じ、地味な感じ、有名な建築や赤星郎とは知らなかった 等)

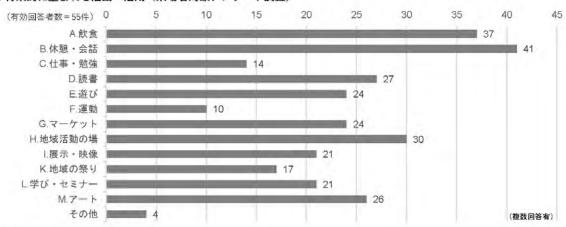


●来場者の活用意向

(旧赤星鉄馬邸の将来的に望まれる活動・活用)

将来的に望まれる活動・活用については、「休憩・会話」が41件、「飲食」が37件と多く、日常的に利用できる 活動・活用が望まれている。次いで、「地域活動の場」が30件と多い。

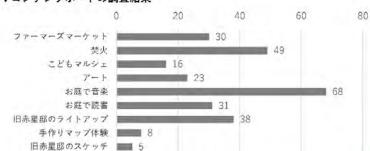
▼将来的に望まれる活動・活用(来場者対象アンケート調査)



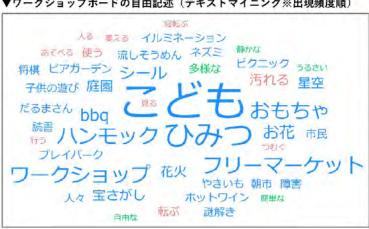
(庭園での利用意向)

会場内で「この庭、どう使いたい?」をテーマにワークショップを実施した。市民ワークショップで出された意 見で今回の社会実験の企画として実施しなかった企画を掲載したコンテンツボードを作成した。コンテンツボード では、「お庭で音楽」が 68 件と最も多く、次いで「焚火」が多い結果となった。また、その他自由に記述できるワ ークショップボードでは、子どもに関する活動・遊戯・運動に着目した企画に関する声が多かった。

▼コンテンツボードの調査結果

















●周辺環境への影響

(音環境調査)

社会実験時の音環境を確認し、近隣への影響度合いを把握した。計測地点 ▼調査機設置位置 は、①旧赤星邸屋上、②南側隣地付近、③西側隣地付近の 3 地点で計測した。

環境基本法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調査に おける音レベルの平均値は、住居地域[※]の昼間の基準値(55dB以下)を下回 る若しくはそれ相当の数値となった。

一方で、一時的に鳥の鳴き声や調査機付近での会話等で一時的に高数値にな ることはあるが、継続的なものではなかった。

今後、平常時の音レベル、日常生活等に適用する騒音の規制基準(隣地境 界線で 45dB) を踏まえた調査・分析を実施予定である。

▼音環境調査結果概要

	①旧赤星邸屋上			②南側隣地付近			③西側隣地付近		
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN
10:00	50.35	62.90	44.70	46.04	60.20	37.60	~	1.0	
11:00	49.65	59.10	43.10	46.14	58.80	39.10	45.04	51.10	38.50
12:00	48.46	56.10	42.80	55.88	76.70	44.80	46.92	54.70	40.20
13:00	50.35	56.60	45.60	50.02	62.90	43.10	45.92	63.30	39.60
14:00	50.69	59.90	44.40	45.78	66.60	38.50	47.31	58.20	41.20
15:00	51.92	60.10	46.10	47.86	76.30	39.20	45.92	58.20	39.30

※単位は、音レベル (dB)

※環境基本法に規定する環境基準における地域の類型 A 及び B を「住居地域」と定義した。

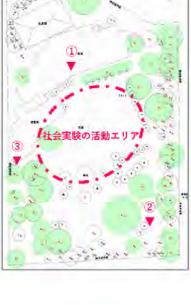
(近隣住民による印象調査)

社会実験当日に、会場や自宅にいた方を対象に社会実験の印象調査※を 実施した。社会実験の実施を受けて利活用に向けた期待の高まるかについ ては、77%の人が「はい」と回答した。

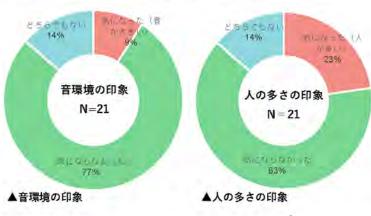
また、近隣住宅・住民への影響として、「音環境」「人の多さ」「交通量 の増加」の印象を調査した。いずれも「気にならなかった」が最も多く、 「音環境」が77%、「人の多さ」が63%、「交通量の増加」が73%であっ た。一方で、「気になった」との回答もあるため、今後の社会実験や利活 用においては十分な配慮が必要である。

※近隣住民 129 世帯を対象に社会実験の実施を受けて活動自体や当日の印象、今後の 意向や懸念点についてアンケート調査を実施した。(回収数 33 通(回収率 25.6%)) ▲利活用に向けた期待の高まり

社会実験の活動エリ







気になった (や浦 ■ かけまかした) BEBL 18% 交通量増加の印象 N = 21▲交通量増加の印象

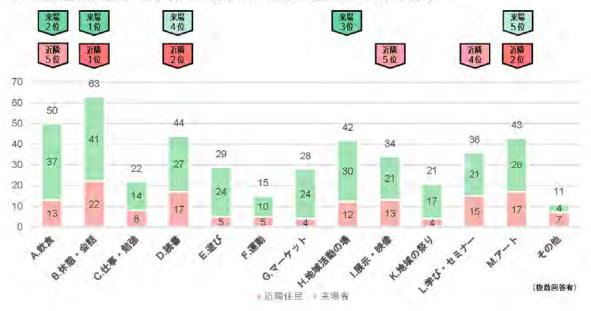
6

●来場者と近隣住民の印象比較

(旧赤星鉄馬邸の将来的に望まれる活動・活用)

将来的に望まれる活動・活用について、来場者、近隣住民ともに同項目で意向を聴取した。来場者、近隣住民ともに「休憩・会話」が最も多かった。また、近隣住民が求める活動・活用種別としては、「休憩・会話」「読書」「アート」「学び・セミナー」「展示・映像」の順位が高く、比較的文化的な活動意向が多い。

▼将来的に望まれる活動・活用(来場者対象アンケート調査・近隣住民アンケート調査)

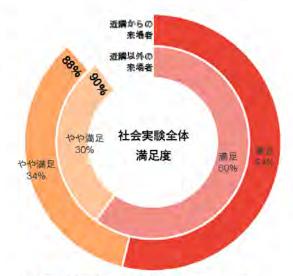


(社会実験全体満足度)

社会実験全体の満足度について、居住属性を分類 し解析した。近隣から来場した回答者の 88%が「満足」または「やや満足」と回答した。また、近隣以 外から来場した回答者の 90%が「満足」または「や や満足」と回答した。近隣とそれ以外の回答者の満 足度に大きな差異がないことが確認できた。

近隣からの来場者:来場者アンケートにおいて居住地に関する設問を「旧赤星鉄馬邸付近」と回答(15 件)、近隣住民対象アンケートにおいて社会実験に「参加した」と回答(11 件)の合算値(26 件)とする。

近隣以外の来場者:来場者アンケートにおいて居住地に関する設問を「旧赤星鉄馬邸付近」以外の回答(40件)とする。



▲社会実験の満足度評価(近隣・近隣以外の比較)

●今後の活動における留意事項(近隣住民の要望(心配な点)や留意事項)

近隣住民対象アンケートによると、旧赤星鉄馬邸の活用を 進める中で心配される事項は、「治安の悪化(防犯)」「交通量 の増加(交通事故等)」に関する意見が6件と最も多く、他に 「騒音」が5件で次いで多かった。

また、今後の対策として講じてほしい事項としては、「入場制限(コントロール)」に関する意見が6件と最も多かった。

▼活用を進める上で不安点(近隣住民対象アンケートから解析)



▼具体的な意見(抜粋)

A氏(印象調査で音、人の多さ、交通量で気になったと回答)

近所に住んでいる人の事を考え<u>多人数の入場をさせない</u>。近くまで家のまわりに入り込ませないでその時だけの<u>柵をもう</u>けてほしい。交通量も考えてほしい。こちらを見ている人には感じないかもしれないが、家をじろじろみられるのを本当に不愉快である。そんな人と目があうのがとてもいやでたまらない。1日中不愉快な思いで過ごした。

B氏(印象調査で人の多さで気になったと回答)

玄関が赤星郎の庭から直に見えるため、人通りが増えると防 犯面で少し心配です。邸宅に入れる時間を制限するなど、何 らかの安全管理はしていただきたいなと感じます。

CK

来場者が増えすぎると地元の人たちがゆっくり過ごしづらく なるので、周辺に住む人をターゲットにした企画、コアなファンを引き付けるような企画にする等をしてうまくコントロールしていただきたい。

D氏(印象調査で人の多さで気になったと回答)

住んでいる人がいないうえ、不特定多数の人が訪問されるようになると、<u>防犯</u>上、問題が心配される。(そもそも、大きな木が多すぎることで、目がつきにくい。)

EÆ

建物を丁寧に利用しない人への注意ができるか心配。子ども・大人も乱暴に使用する人。大声でしゃべったりする声 (大学生が叫びながら歩いていると、とても気になっているので、大声を出す活用はやめてほしい。)

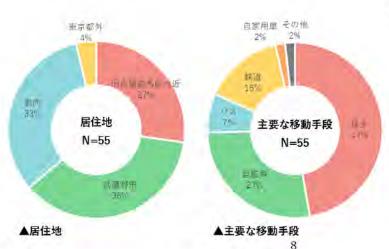
●その他来場者の属性

今回、来場した方の72%は、旧赤星鉄馬邸に来たことがない人であった。 来場者の居住地は、武蔵野市内が63%(近隣27%、近隣外の市内36%) であった。都内(市外)からの来場者も33%あった。

来場者の移動手段は、「徒歩」が 47%、「自転車」が 27%と、近い距離 からの来訪者が多かった。なお、当社会実験では、予備駐輪場として第一 小学校を確保していたが、ほぼ使用されなかった。

来場グループは、「家族(子ども含む)」が 38%と最も多く、次いで「一人で」が 29%と多かった。







10000

5 社会実験実施事業者等公募支援

5.1 マーケットサウンディングの実施

① 調査実施計画

本調査は、令和6年度に社会実験を実施する事業者や団体を公募する事前準備として、公募に参加する可能性のある事業者に対してマーケットサウンディング(簡易アンケート)を実施し、当該事業の課題を調査した。

調査対象は、令和5年度に社会実験に協力してもらった事業者5社とした。

表 5-1 調査実施概要

調査時期	2024年3月19日(火)~3月26日(火)
調査手法	WEB アンケートによる調査
有効回答数	調査対象事業者数:5 社
	有効回答数:5件
アクティビティ	・社会実験の継続店・課題点について
調査項目	・今後の運用について(使用料・ルール)
	・回答者属性

② 調査結果まとめ

A) 出店に際して、良かった点・継続すべき点

【令和5年度に実施した「旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験」に出店に際して、良かった点・継続すべき点について記述してください。】に対して以下の回答が得られた。

令和5年度の社会実験では、事業者参加のハードルを下げることを目的とし、可能な限りのサポート (備品準備・保健所対応)を実施していたことから「運営側からのサポート」が良い点として挙げられた。

また、継続してほしい点として、令和5年度と同じような企画・ワークショップがあることが望ましい。

表 5-2 出店に際して、良かった点・継続すべき点

No	回答内容
1	イベントを通じて、 美しい庭園や建築に触れる機会 があることは、来場者も出店者にとってもとても貴重な良
	い点と思います。
2	運営の皆様の対応が素晴らしく心地よく営業ができました。キッチンまで利用させていただき感謝しかありま
	せん。
	車の乗り入れがテント前まで入れた ことと、 近くに駐車スペースを確保 いただけており大変助かりました。
	保健所への対応まで運営様のおんぶに抱っこで大変恐縮でしたが、 テント内の備品設営などは出店側に委ねて
	いただいても構いません。 大変助かりますが 運営の方々の負担のおおきさが心配 です。
3	【良かった点】 ・人が想像以上に集まっていた
	・飲食だけでなく、ワークショップ系もあって盛り上がっていた
	・運営スタッフが多くて、サポートが手厚かった
	【継続すべき点】 ・ 飲食だけでなく、ワークショップ系もあるといい
4	こちらの邸宅について関心をお持ちの方が思った以上にたくさんいらっしゃり、たくさんのお客様にお越しい
	ただけてとても良かったです。
5	赤星邸を様々な人々に知らしめることに、協力出来て良かったです。お天気が今一つにもかかわらず、大勢の
	方々来られた点を考慮すると、継続すべきだと考えます。



B) 出店に際して、気になった点・課題と思う点

【令和5年度に実施した「旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験」に出店に際して、気になった点・課題と思う点について記述してください。】に対して以下の回答が得られた。

日程については、天候や気温に左右されない全天候型での実施を望まれる回答があった。また、社会実験の情報公開時期について、早めの告知が課題となった。

さらに、出店者に出店環境を事前に伝達することで必要な備品を準備してもらうことができたと考えられる。

表 5-3 出店に際して、気になった点・課題と思う点

回答内容					
出店に際しては気になった点は特にありません。					
もし今後ともイベントを継続されるとしたら、 人材育成、マンパワーの確保は課題 と感じます。(市職員さん					
の業務内なのか、ボランティアさんや学生さんが無報酬でなさっているかわかりませんが)					
季節的にもう少し 暖かな日程 だとお客様も多く来場されそう。					
吉祥寺の方でも開催を知らず 情報をもう少し早く知りたかった とのお声がありました。					
また他店様のことになりますが提供時間の遅れで来場し購入の方が提供までの時間を持て余し困っていまし					
t_{c}					
テント内が遮光で暗い印象でしたので照明器具などの用意は各出展者に事前にお知らせ いただけたらありがた					
いです。					
【気になった点】					
・駅からやや遠く、場所(入り口)が少し分かりにくかった					
【課題と思う点】					
・場所が野外なので <u>天候によって左右される</u> なと思いました(雨、風、暑さなど)					
今回参加させていただいたイベントでは、建物の内部での出店などはできなかったので、できれば 内部も使わ					
<u>せていただくこと</u> ができればもっと良くなるのではないかと思いました。					
特にありません。					

C) 使用料の設定に関する意見

【使用料を徴収するとした場合、今回と同様の利用を想定して、場所代としていくらが適切だと考えますか?また、条件も同様に記載をお願いします。】に対して以下の回答が得られた。

場所代の金額は、平均 6,700 円(5,000~10,000 円の間)と回答があった。併せて電気使用量や備品レンタル料を付加することが想定される。

No	具体的金額	当日売上額(参考)	回答内容
1	4,800 円/日	48,000円	例として、テントひと張り+折り畳みテーブル 1 つ貸与 1 日 3000 円、電気使用別途 2000 円、キッチンカー1 日の売り上げの 10%、電気使用料別途 2000 円など
2	10,000円/日	85,700 円	1日あたり 10000 円程度の徴収でしたらまた出店させていただきたいなと思います。設営や運営など大変かと思いますので2日間などの多日数の開催も良いのでは。
3	8,000~10,000 円/日	_	1日 8,000~10,000 円前後+電気使用量(実際にかかる費用分)
4	5,000 円/日	_	5,000円(テント1張り、1日利用、電気使用想定)
	5000円/日	130,000 円	来邸される方の人数によると思います。今回の倍の人数を想定するの

であれば、テント一張り電気使用量込みで 5,000 円くらい、四倍以上

を想定するのであれば、10,000円と考えます

表 5-4 使用料の設定に関する意見

D) 事業者視点であったほうが良いルールや運用

6,800 円/日

平均

【今後、旧赤星鉄馬邸の利活用を進めるにあたって、事業者視点であったほうが良いルールや運用 はありますか?】に対して以下の回答が得られた。

ルールについては、出店者に向けてイベントの方向性や条件を提示するとよいとの回答があった。 また、建物設備や諸室を使用した飲食・物販提供があるとよいとの意見もあった。

± r	-5 重業者組占である	ナルスジウェ	
表り	- 5 里羊岩和白でみ・	ったけっか良い	ハールわ通田

No	回答内容					
1	可能であればですが、 出店者を増やして規模を拡大 しても良いと思いました。庭園だけでなくイベント時は 建					
	物内にもカフェスペースや菓子・パン・コーヒーや軽食などの販売スペース、厨房のレンタル(シェアキッチ					
	ンのように) があっても良いかと思いました。					
2	各テントの装飾品などの用意のイメージや方向性などを事前に伺えるとありがたいです。					
	例:必要最低限のテント・設備のみの提供のため出店者側で各テント個性が出るような装飾やメニュー表を持					
	参してください。等 (できればイベントのコンセプトや方向性・イベントの各ブースのイメージ写真あれ					
	ばどれくらい用意すれば良いのかわかるので助かります。)					
3	ルールというわけではないけれど、 出店条件を何か同じ方向性 で絞った方がいいのかな?と思いました。(例					
	えば、自然派、手作り、○○エリア限定など。)					
	イベント全体に統一感 があると、同じ層のお客さんが集まるのかな?と思いました。前回参加させていただい					
	たイベント時は、割と似た層のお客さんが集まっていた印象です。					
4						
5	特にありません。					

E) 今後の参加意向

【今後、旧赤星鉄馬邸の庭園社会実験時や本格運用時に出店案内があった場合、参加したいと思いますか?】【その理由や条件についてご回答お願いします。】に対して以下の回答が得られた。

回答があった5社ともに条件によって参加したいと回答した。条件としては、出店料金、他店との取り扱う商品のバランス、他のコンテンツの状況などがあった。

表 5-6 今後の出店意向とその理由

No	参加意向	理由
1	条件によって	出店料次第 では出店を検討したい。例えば 10000 円の出店料だったとして、テントの場合は
	参加したい	2 店舗 3 店舗でひとつのテントをシェアすれば出店料も割り勘できる。キッチンカーの場合
		はそれが難しく、売上に見合った出店料でないと出店は厳しいと感じるため。
2	条件によって	もう少し来街者が楽しみに訪れるようなメインコンテンツがあるとより集客につながるので
	参加したい	はと思いました。吉祥寺の街の方々や赤星邸に興味がある方やイベントを楽しみにいらっし
		ゃる方々に 当店の知っていただけるきっかけになるようなら是非今後とも出店したい です。
		季節やイベントに沿ったメニューでの出店を検討させていただきます。出店費用などはそこ
		まで問いません。どうぞ引き続き宜しくお願いします!
3	条件によって	住まいが愛知県なので日にちによっては行けない。また利用料によっては赤字になってしま
	参加したい	う。
4	条件によって	利用料金や、他の出店者の方の取り扱う商品の種類等
	参加したい	
5	条件によって	他のイベント等と重なった場合を想定しています。また、赤星邸でのイベント内容も考慮の
	参加したい	材料です